

水質部会資料 1

諮 問 事 項

水生生物の保全に係る
水質環境基準の類型指定について

<参 考 資 料>

参考資料

- 参考資料 1 類型指定を行うために必要な基礎情報
- 参考資料 2 公共用水域の類型指定現況図
水生生物保全環境基の類型指定フローチャート
水域区分と環境基準点の設定の例
類型指定に係る水域区分についての情報の整理表
- 参考資料 3 審議会の答申に係る福岡県意見書提出制度要綱

類型指定を行うために必要な基礎情報

目 次

1	長峽川	・ ・ ・ ・ 1
2	今川及び油木ダム	・ ・ ・ ・ 8
3	江尻川	・ ・ ・ 17
4	祓川	・ ・ ・ 24
5	音無川	・ ・ ・ 32
6	城井川	・ ・ ・ 39
7	岩丸川	・ ・ ・ 46
8	真如寺川	・ ・ ・ 53
9	中川	・ ・ ・ 60
10	岩岳川	・ ・ ・ 67
11	佐井川	・ ・ ・ 75
12	友枝川	・ ・ ・ 83
13	西川	・ ・ ・ 90
14	八木山川及び力丸ダム	・ ・ ・ 97
15	犬鳴川	・ ・ 105
16	穂波川	・ ・ 112
17	山田川	・ ・ 119
18	遠賀川	・ ・ 126
19	中元寺川	・ ・ 134
20	彦山川	・ ・ 141
21	金辺川	・ ・ 148

1 長峽川

1-1 水質

(1) BOD

BODについて過去5年間に行われた水質測定結果を表1-1-1に示す。

BOD（75%値）は、長音寺橋では全ての年度で環境基準を超過しており、亀川橋では全ての年度で環境基準を達成している。

表 1-1-1 BOD の水質測定結果（長峽川）

水域名 [類型]	調査地点	年度	BOD(mg/L)					
			最小	～	最大	75%値	測定回数	基準値
長峽川上流 [A]	長音寺橋	H24	1.3	～	9.9	5.2	12	2 以下
		H25	1.4	～	16.0	4.1	12	
		H26	1.3	～	7.9	2.9	12	
		H27	0.8	～	6.1	2.2	12	
		H28	0.9	～	6.4	3.6	12	
		平均		—		3.6	—	
長峽川下流 [C]	亀川橋	H24	1.1	～	3.5	2.5	12	5 以下
		H25	0.8	～	5.1	2.2	12	
		H26	1.1	～	5.8	2.5	12	
		H27	0.7	～	2.5	1.9	12	
		H28	1.1	～	3.6	2.4	12	
		平均		—		2.3	—	

(2) 全亜鉛

全亜鉛について過去5年間に行われた水質測定結果を表 1-1-2 及び図 1-1-1 に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、全ての地点において生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 1-1-2 全亜鉛の水質測定結果（長峽川）

調査地点	年度	全亜鉛(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
長音寺橋	H24	<0.001	～	0.003	0.002	4
	H25	0.001	～	0.012	0.005	4
	H26	0.002	～	0.007	0.004	4
	H27	0.001	～	0.009	0.004	4
	H28	0.001	～	0.004	0.003	4
	平均		—		0.004	—
亀川橋	H24	0.002	～	0.004	0.003	4
	H25	0.002	～	0.009	0.004	4
	H26	0.003	～	0.018	0.008	4
	H27	0.001	～	0.011	0.005	4
	H28	<0.001	～	0.006	0.003	4
	平均		—		0.005	—

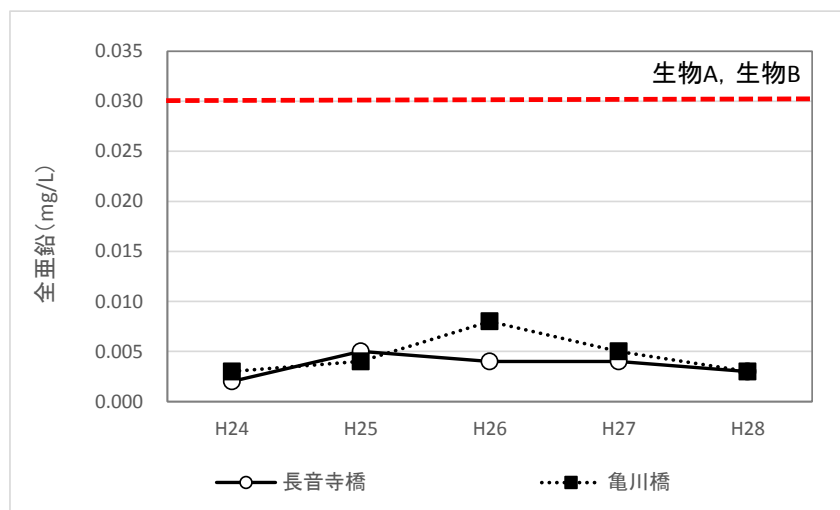


図 1-1-1 全亜鉛の水質測定結果（長峽川）

(3) ノニルフェノール

ノニルフェノールについて過去3年間に行われた水質測定結果を表1-1-3及び図1-1-2に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、全ての地点において生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

表 1-1-3 ノニルフェノールの水質測定結果（長峡川）

調査地点	年度	ノニルフェノール(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
長音寺橋	H26	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	H28	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	平均		—		0.00006	—
亀川橋	H26	<0.00006	～	0.00007	0.00006	4
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	H28	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	平均		—		0.00006	—

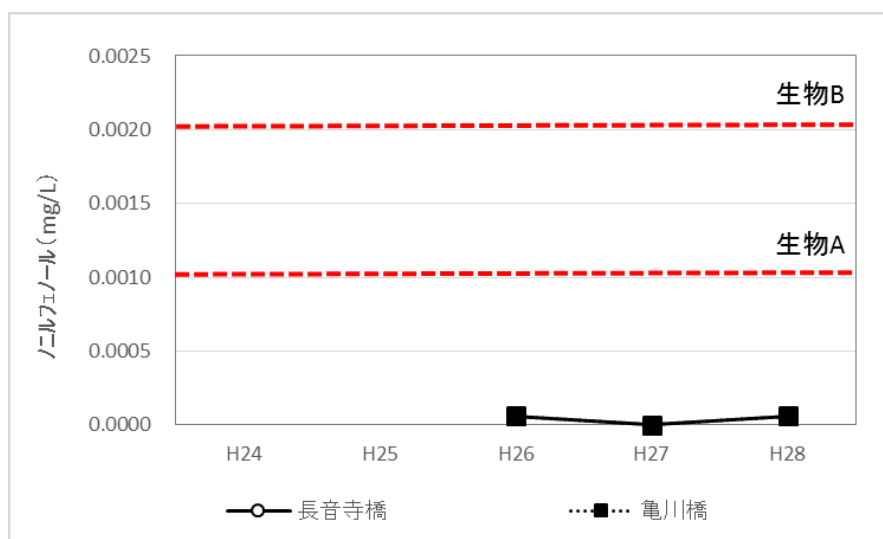


図 1-1-2 ノニルフェノールの水質測定結果（長峡川）

(4) LAS

LAS について過去3年間に行われた水質測定結果を表 1-1-4 及び図 1-1-3 に示す。
 参考までに環境基準値と比較したところ、全ての地点において生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 1-1-4 LAS の水質測定結果（長峡川）

調査地点	年度	LAS(mg/L)				測定回数
		最小	～	最大	平均値	
長音寺橋	H26	0.0069	～	0.041	0.021	4
	H27	0.0043	～	0.013	0.0068	4
	H28	0.0010	～	0.0091	0.0061	4
	平均	—			0.011	—
亀川橋	H26	0.0077	～	0.055	0.023	4
	H27	0.0049	～	0.014	0.0094	4
	H28	0.0007	～	0.014	0.0086	4
	平均	—			0.014	—

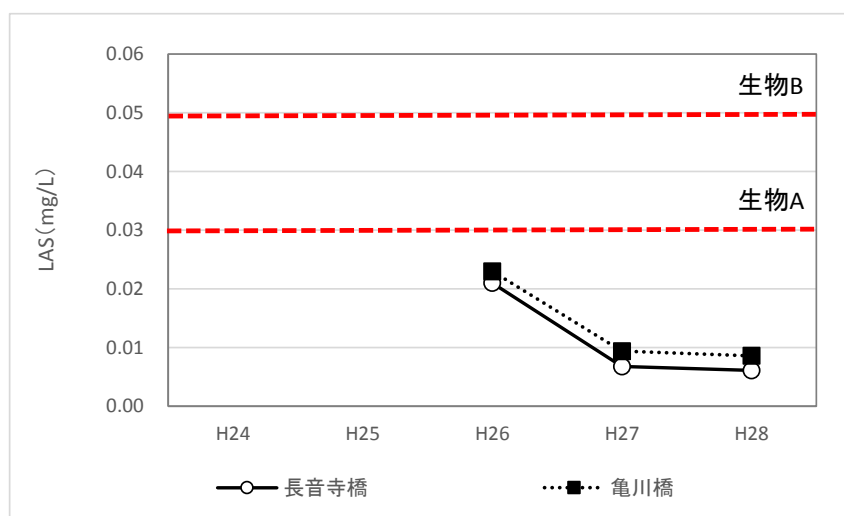


図 1-1-3 LAS の水質測定結果（長峡川）

1-2 水温

過去5年間に行われた水質測定における水温の測定結果を表1-2-1に示す。

表 1-2-1 水温測定結果（長峽川）

調査地点	年度	水温(°C)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
長音寺橋	H24	6.7	～	30.4	17.8	12
	H25	6.1	～	29.4	17.5	12
	H26	6.9	～	26.8	16.6	12
	H27	8.2	～	30.7	17.4	12
	H28	8.9	～	32.3	18.4	12
	平均		—		17.5	—
亀川橋	H24	7.6	～	29.8	18.5	12
	H25	6.7	～	30.5	18.3	12
	H26	7.6	～	27.1	17.7	12
	H27	8.3	～	33.7	18.2	12
	H28	9.6	～	31.3	18.8	12
	平均		—		18.3	—

1-3 水生生物の生息状況

現地調査及び既存文献から情報収集を行った結果を図1-3-1に示す。

図1-3-1に示すとおり、冷水性魚介類の生息は確認されなかった。また、全域で温水性魚介類の生息が確認された。

希少種・重要種等の情報を含むため委員限り

図 1-3-1 水生生物の生息状況（長峡川）

1-4 その他関連事項

- (1) 漁業法に基づく内水面共同漁業権の設定状況
内水面共同漁業権の設定はない。

- (2) 福岡県内水面漁業調整規則に基づく水産動植物採捕の許可状況
シラスウナギの採捕の許可を取得し、採捕を行っている者がいる。

2 今川及び油木ダム

2-1 水質

(1) BOD（今川）

今川の BOD について過去 5 年間に行われた水質測定結果を表 2-1-1 に示す。

なお、丸瀨橋は、当該地点付近から上流において冷水性の魚介類の生息が確認されたことから、平成 28 年度に補足調査を実施した地点である。

BOD（75%値）は、野口橋及び今川汐止堰とも平成 27 年度のみ環境基準を達成している。

表 2-1-1 BOD の水質測定結果（今川）

水域名 [類型]	調査地点	年度	BOD(mg/L)					基準値
			最小	～	最大	75%値	測定回数	
今川上流 [AA]	野口橋	H24	0.9	～	1.7	1.5	12	1 以下
		H25	<0.5	～	2.3	1.4	12	
		H26	<0.5	～	7.4	1.5	12	
		H27	<0.5	～	1.6	1.0	12	
		H28	0.6	～	2.2	1.3	12	
		平均	—	—	1.3	—		
今川下流 [A]	今川汐止堰	H24	1.1	～	4.2	3.3	12	2 以下
		H25	0.7	～	3.2	2.4	12	
		H26	1.1	～	5.8	2.2	12	
		H27	0.8	～	3.6	2.0	12	
		H28	0.7	～	3.2	2.3	12	
		平均	—	—	2.4	—		
今川上流 [AA]	丸瀨橋	H28	<0.5	～	1.8	1.2	12	1 以下

(2) COD (油木ダム)

油木ダムのCODについて過去5年間に行われた水質測定結果を表2-1-2に示す。

COD(75%値)は、平成26年度を除き各年度ともに環境基準を達成している。

表 2-1-2 CODの水質測定結果 (油木ダム)

湖沼名 [類型]	調査地点	年度	COD(mg/L)					基準値
			最小	～	最大	75%値	測定回数	
油木ダム [湖沼A]	ダムサイト	H24	1.7	～	6.0	3.0	36	3 以下
		H25	1.3	～	6.9	3.0	36	
		H26	1.3	～	5.5	3.3	36	
		H27	1.7	～	4.8	2.6	36	
		H28	0.7	～	5.5	3.0	36	
		平均		—		3.0	—	

(3) 全リン (油木ダム)

油木ダムの全リンについて過去5年間に行われた水質測定結果を表2-1-3に示す。

全リン(平均値)は、全ての年度で環境基準を超過している。

表 2-1-3 全リンの水質測定結果 (油木ダム)

湖沼名 [類型]	調査地点	年度	全リン(mg/L)				基準値
			最小	～	最大	平均値	
油木ダム [湖沼Ⅱ]	ダムサイト	H24	0.006	～	0.046	0.016	0.01 以下
		H25	0.003	～	0.025	0.014	
		H26	0.010	～	0.037	0.017	
		H27	0.008	～	0.051	0.019	
		H28	0.008	～	0.072	0.022	
		平均		—		0.018	

(4) 全亜鉛

今川及び油木ダムの全亜鉛について過去5年間に行われた水質測定結果を表 2-1-4、表 2-1-5 及び図 2-1-1 に示す。

なお、丸瀝橋は、当該地点付近から上流において冷水性の魚介類の生息が確認されたことから、平成 28 年度に補足調査を実施した地点である。

参考までに環境基準値と比較したところ、全ての地点において生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 2-1-4 全亜鉛の水質測定結果（今川）

調査地点	年度	全亜鉛(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
野口橋	H24	<0.001	～	0.001	0.001	4
	H25	<0.001	～	0.002	0.001	4
	H26	0.001	～	0.004	0.002	4
	H27	<0.001	～	0.003	0.002	4
	H28	<0.001	～	0.002	0.002	4
	平均		—		0.002	—
今川汐止堰	H24	<0.001	～	0.002	0.001	4
	H25	0.001	～	0.002	0.001	4
	H26	<0.001	～	0.003	0.002	4
	H27	<0.001	～	0.002	0.001	4
	H28	<0.001	～	0.003	0.002	4
	平均		—		0.001	—
丸瀝橋	H28	<0.001	～	0.006	0.003	4

表 2-1-5 全亜鉛の水質測定結果（油木ダム）

調査地点	年度	全亜鉛(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
ダムサイト	H24	<0.001	～	0.007	0.003	12
	H25	<0.001	～	0.025	0.006	12
	H26	<0.001	～	0.020	0.007	12
	H27	<0.001	～	0.045	0.008	12
	H28	<0.001	～	0.086	0.017	12
	平均		—		0.008	—

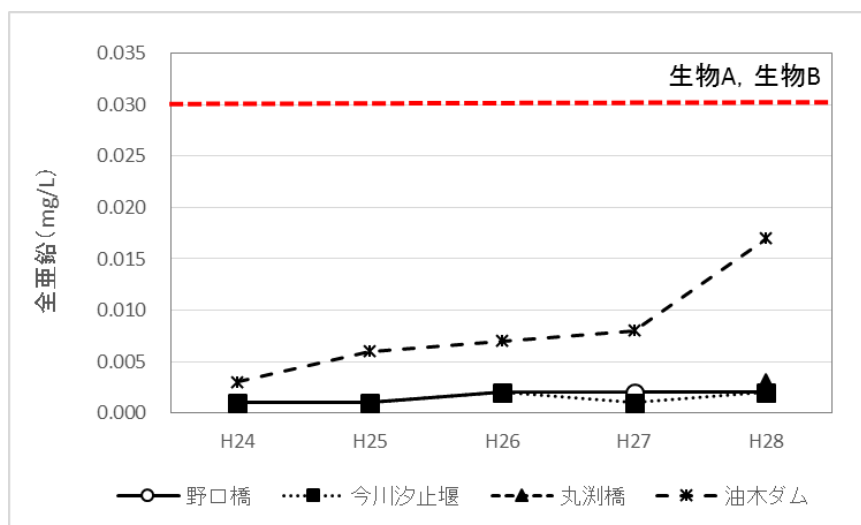


図 2-1-1 全亜鉛の水質測定結果（今川及び油木ダム）

(5) ノニルフェノール

今川及び油木ダムのノニルフェノールについて過去4年間に行われた水質測定結果を表2-1-6、表2-1-7及び図2-1-2に示す。

なお、丸淵橋は、当該地点付近から上流において冷水性の魚介類の生息が確認されたことから、平成28年度に補足調査を実施した地点である。

参考までに環境基準値と比較したところ、全ての地点において生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

表2-1-6 ノニルフェノールの水質測定結果（今川）

調査地点	年度	ノニルフェノール(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
野口橋	H26	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	H28	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	平均		—		0.00006	—
今川汐止堰	H26	<0.00006	～	0.00008	0.00007	4
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	H28	<0.00006	～	0.00009	0.00007	4
	平均		—		0.00007	—
丸淵橋	H28	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4

表2-1-7 ノニルフェノールの水質測定結果（油木ダム）

調査地点	年度	ノニルフェノール(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
ダムサイト	H25	<0.00006	～	0.00009	0.00007	3
	H26	<0.00006	～	0.00006	0.00006	12
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	12
	H28	<0.00006	～	0.00006	0.00006	12
	平均		—		0.00006	—

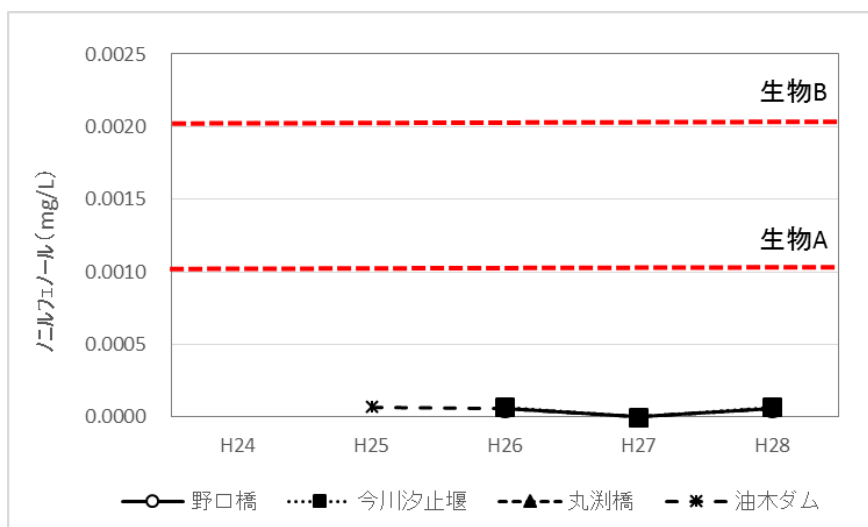


図2-1-2 ノニルフェノールの水質測定結果（今川及び油木ダム）

(6) LAS

今川及び油木ダムの LAS について過去 3 年間に行われた水質測定結果を表 2-1-8、表 2-1-9 及び図 2-1-3 に示す。

なお、丸瀧橋は、当該地点付近から上流において冷水性の魚介類の生息が確認されたことから、平成 28 年度に補足調査を実施した地点である。

参考までに環境基準値と比較したところ、全ての地点において生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 2-1-8 LAS の水質測定結果（今川）

調査地点	年度	LAS(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
野口橋	H26	0.0008	～	0.017	0.0093	4
	H27	0.001	～	0.015	0.0050	4
	H28	<0.0006	～	0.0016	0.0010	4
	平均	—			0.0051	—
今川汐止堰	H26	<0.0006	～	0.022	0.010	4
	H27	<0.0006	～	0.0015	0.0012	4
	H28	<0.0006	～	0.0028	0.0013	4
	平均	—			0.0042	—
丸瀧橋	H28	<0.0006	～	0.0017	0.0010	4

表 2-1-9 LAS の水質測定結果（油木ダム）

調査地点	年度	LAS(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
ダムサイト	H26	<0.0006	～	0.0059	0.0020	12
	H27	<0.0006	～	0.0022	0.0008	12
	H28	<0.0006	～	0.0010	0.0007	12
	平均	—			0.0012	—

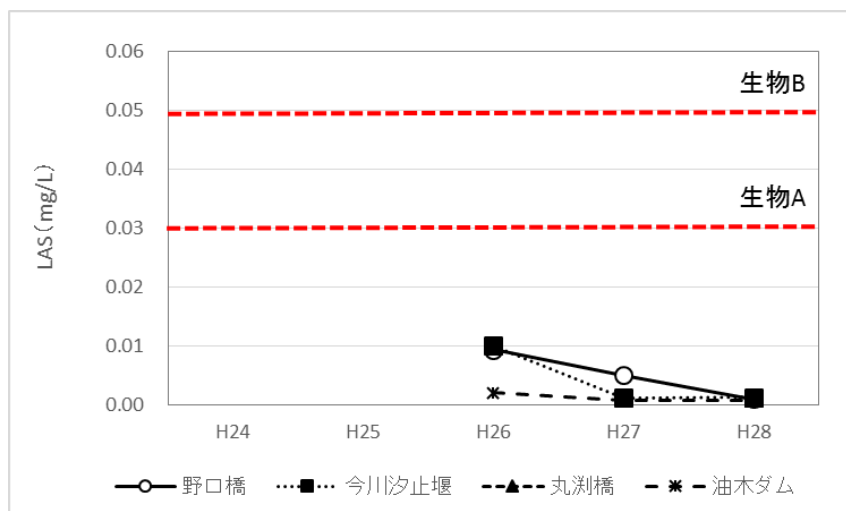


図 2-1-3 LAS の水質測定結果（今川及び油木ダム）

2-2 水温

今川及び油木ダムにおいて過去5年間に行われた水質測定における水温の測定結果を表2-2-1及び表2-2-2に示す。

なお、丸淵橋は、当該地点付近から上流において冷水性の魚介類の生息が確認されたことから、平成28年度に補足調査を実施した地点である。

表2-2-1 水温測定結果（今川）

調査地点	年度	水温(°C)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
野口橋	H24	6.4	～	25.5	16.1	12
	H25	5.8	～	27.0	16.1	12
	H26	6.9	～	24.2	15.4	12
	H27	7.5	～	27.8	16.3	12
	H28	8.1	～	28.1	16.8	12
	平均		—		16.1	—
今川汐止堰	H24	6.5	～	28.5	18.0	12
	H25	5.7	～	29.3	17.6	12
	H26	6.8	～	25.9	17.4	12
	H27	7.9	～	32.2	17.8	12
	H28	9.2	～	32.0	18.5	12
	平均		—		17.9	—
丸淵橋	H28	5.1	～	23.1	14.7	12

表2-2-2 水温測定結果（油木ダム）

調査地点	年度	水温(°C)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
ダムサイト （表層）	H24	7.3	～	27.9	17.4	12
	H25	7.2	～	29.7	18.2	12
	H26	7.4	～	26.8	17.4	12
	H27	8.2	～	30.4	17.7	12
	H28	8.6	～	29.3	18.5	12
	平均		—		17.8	—
ダムサイト （中層）	H24	7.0	～	20.7	13.6	12
	H25	7.0	～	20.7	14.1	12
	H26	7.4	～	20.8	13.7	12
	H27	7.8	～	19.6	13.7	12
	H28	8.3	～	20.3	14.7	12
	平均		—		14.0	—
ダムサイト （底層）	H24	6.7	～	17.4	11.8	12
	H25	5.9	～	17.4	12.3	12
	H26	7.0	～	19.3	12.1	12
	H27	7.6	～	19.8	12.8	12
	H28	7.8	～	14.2	11.0	12
	平均		—		12.0	—

2-3 水生生物の生息状況

現地調査及び既存文献から情報収集を行った結果を図2-3-1に示す。全域で温水性の魚介類の生息が確認された。また、丸淵橋でヤマメの生息が確認された調査結果があるが、当該調査以外では冷水性の魚介類の生息は確認されていない。このため、ヤマメは、二級河川の区間内に常に生息しているものではないと推測される。

希少種・重要種等の情報を含むため委員限り

図 2-3-1 水生生物の生息状況（今川及び油木ダム）

2-4 その他関連事項

(1) 漁業法に基づく内水面共同漁業権の設定状況

内共第6号共同漁業権が設定されており、京二川漁業協同組合が免許を取得している。

(2) 水産動物の放流状況

京二川漁業協同組合による放流が行われている。

(3) 漁業協同組合へのヒアリング結果

京二川漁業協同組合へのヒアリングで、丸渕橋より上流域でヤマメの放流を行っているとの情報が得られた。ヤマメの放流区間を図2-4-1に示す。

なお、河川構造等の状況によって、ヤマメの生息範囲は限定的であるとの情報が得られた。

(4) 福岡県内水面漁業調整規則に基づく水産動植物採捕の許可状況

シラスウナギの採捕の許可を取得し、採捕を行っている者がいる。

図 2-4-1 ヤマメの放流状況（今川及び油木ダム）

3 江尻川

3-1 水質

(1) BOD

BOD について過去 5 年間に行われた水質測定結果を表 3-1-1 に示す。

BOD (75%値) は、全ての年度で環境基準を達成している。

表 3-1-1 BOD の水質測定結果 (江尻川)

水域名 [類型]	調査地点	年度	BOD(mg/L)					
			最小	～	最大	75%値	測定回数	基準値
江尻川 [B]	常盤橋	H24	1.3	～	2.9	2.5	12	3 以下
		H25	1.0	～	3.1	2.6	12	
		H26	1.4	～	6.8	3.0	12	
		H27	1.3	～	3.2	2.5	12	
		H28	1.3	～	3.4	2.4	12	
		平均	—	—	2.6	—	—	

(2) 全亜鉛

全亜鉛について過去5年間に行われた水質測定結果を表3-1-2及び図3-1-1に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

表3-1-2 全亜鉛の水質測定結果（江尻川）

調査地点	年度	全亜鉛(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
常盤橋	H24	0.003	～	0.006	0.004	4
	H25	0.004	～	0.025	0.010	4
	H26	0.003	～	0.010	0.006	4
	H27	0.002	～	0.011	0.007	4
	H28	0.001	～	0.006	0.004	4
	平均	—			0.006	—

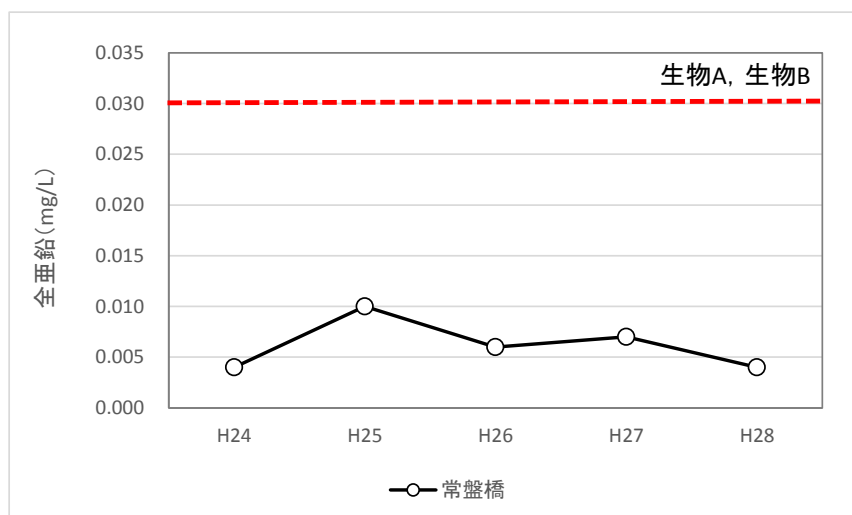


図3-1-1 全亜鉛の水質測定結果（江尻川）

(3) ノニルフェノール

ノニルフェノールについて過去3年間に行われた水質測定結果を表3-1-3及び図3-1-2に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

表 3-1-3 ノニルフェノールの水質測定結果（江尻川）

調査地点	年度	ノニルフェノール(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
常盤橋	H26	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	H28	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	平均		—		0.00006	—

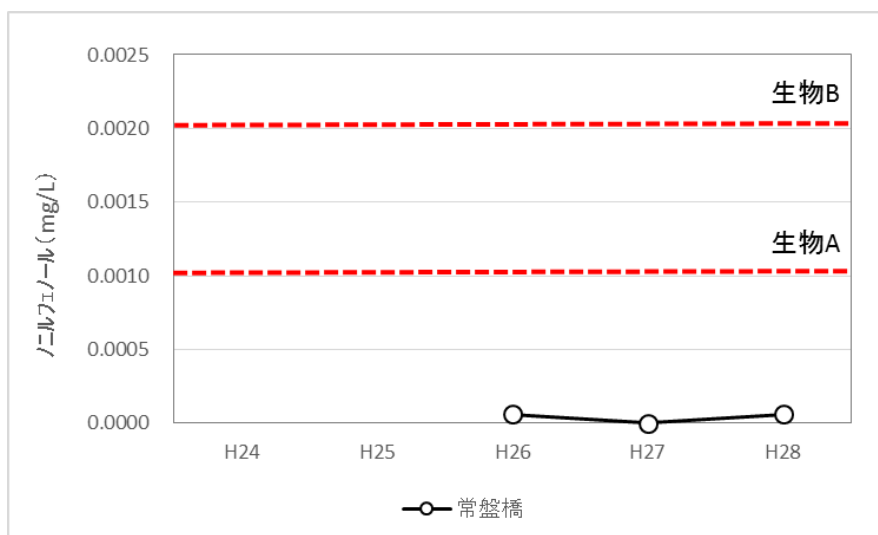


図 3-1-2 ノニルフェノールの水質測定結果（江尻川）

(4) LAS

LAS について過去 3 年間に行われた水質測定結果を表 3-1-4 及び図 3-1-3 に示す。
 参考までに環境基準値と比較したところ、平成 26 年度を除き生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 3-1-4 LAS の水質測定結果（江尻川）

調査地点	年度	LAS(mg/L)				測定回数
		最小	～	最大	平均値	
常盤橋	H26	0.016	～	0.16	0.082	4
	H27	0.017	～	0.034	0.024	4
	H28	0.0010	～	0.028	0.018	4
	平均	—			0.041	—

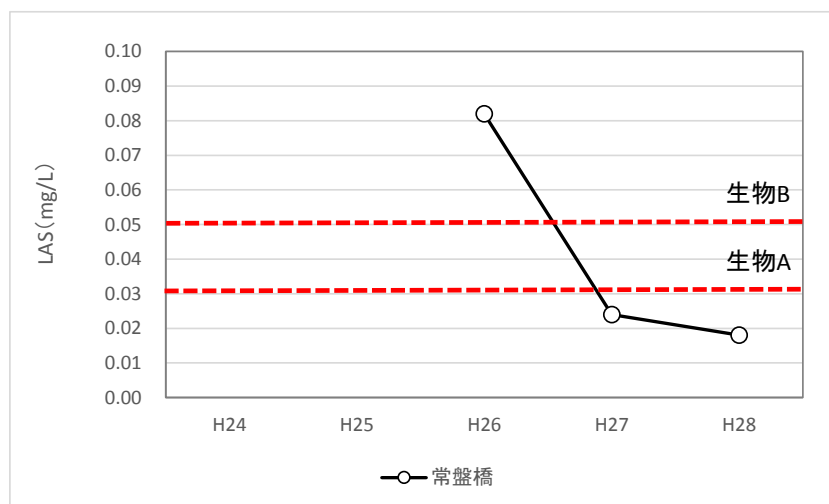


図 3-1-3 LAS の水質測定結果（江尻川）

3-2 水温

過去5年間に行われた水質測定における水温の測定結果を表3-2-1に示す。

表 3-2-1 水温測定結果（江尻川）

調査地点	年度	水温(°C)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
常盤橋	H24	7.1	～	30.1	18.4	12
	H25	5.8	～	29.4	17.9	12
	H26	6.4	～	27.2	17.7	12
	H27	7.6	～	33.6	17.8	12
	H28	9.9	～	31.2	19.0	12
	平均		—		18.2	—

3-3 水生生物の生息状況

現地調査及び既存文献から情報収集を行った結果を図3-3-1に示す。

図3-3-1に示すとおり、冷水性魚介類の生息は確認されなかった。また、全域で温水性の魚介類の生息が確認された。

図 3-3-1 水生生物の生息状況（江尻川）

3-4 その他関連事項

(1) 漁業法に基づく内水面共同漁業権の設定状況

内水面共同漁業権の設定はない。

(2) 福岡県内水面漁業調整規則に基づく水産動植物採捕の許可状況

シラスウナギの採捕の許可を取得し、採捕を行っている者がいる。

4 祓川

4-1 水質

(1) BOD

BODについて過去5年間に行われた水質測定結果を表4-1-1に示す。

なお、古屋河内橋は、当該地点付近から上流において冷水性の魚介類の生息が確認されたことから、平成28年度に補足調査を実施した地点である。

BOD(75%値)は、祓郷橋では平成27年度のみ、沓尾橋では平成24年度を除く各年度で環境基準を達成している。

表 4-1-1 BOD の水質測定結果（祓川）

水域名 [類型]	調査地点	年度	BOD(mg/L)					基準値
			最小	～	最大	75%値	測定回数	
祓川上流 [AA]	祓郷橋	H24	0.6	～	2.8	1.6	12	1 以下
		H25	<0.5	～	2.6	1.1	12	
		H26	<0.5	～	5.5	2.0	12	
		H27	<0.5	～	2.2	1.0	12	
		H28	<0.5	～	2.3	1.7	12	
		平均	—	—	1.5	—	—	
祓川下流 [A]	沓尾橋	H24	0.8	～	5.8	2.3	12	2 以下
		H25	0.6	～	2.2	1.4	12	
		H26	0.8	～	6.0	2.0	12	
		H27	0.5	～	1.9	1.3	12	
		H28	0.7	～	2.4	1.7	12	
		平均	—	—	1.7	—	—	
祓川上流 [AA]	古屋河内橋	H28	<0.5	～	1.2	0.6	4	1 以下

(2) 全亜鉛

全亜鉛について過去5年間に行われた水質測定結果を表4-1-2及び図4-1-1に示す。

なお、古屋河内橋は、当該地点付近から上流において冷水性の魚介類の生息が確認されたことから、平成28年度に補足調査を実施した地点である。

参考までに環境基準値と比較したところ、全ての地点において生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

表4-1-2 全亜鉛の水質測定結果（祓川）

調査地点	年度	全亜鉛(mg/L)				測定回数
		最小	～	最大	平均値	
祓郷橋	H24	<0.001	～	0.003	0.002	4
	H25	<0.001	～	0.005	0.002	4
	H26	0.001	～	0.004	0.002	4
	H27	<0.001	～	0.002	0.001	4
	H28	<0.001	～	0.001	0.001	4
	平均			—	0.002	—
沓尾橋	H24	0.001	～	0.007	0.003	4
	H25	0.001	～	0.007	0.005	4
	H26	0.001	～	0.004	0.003	4
	H27	0.001	～	0.006	0.003	4
	H28	<0.001	～	0.007	0.003	4
	平均			—	0.003	—
古屋河内橋	H28	<0.001	～	0.001	0.001	4

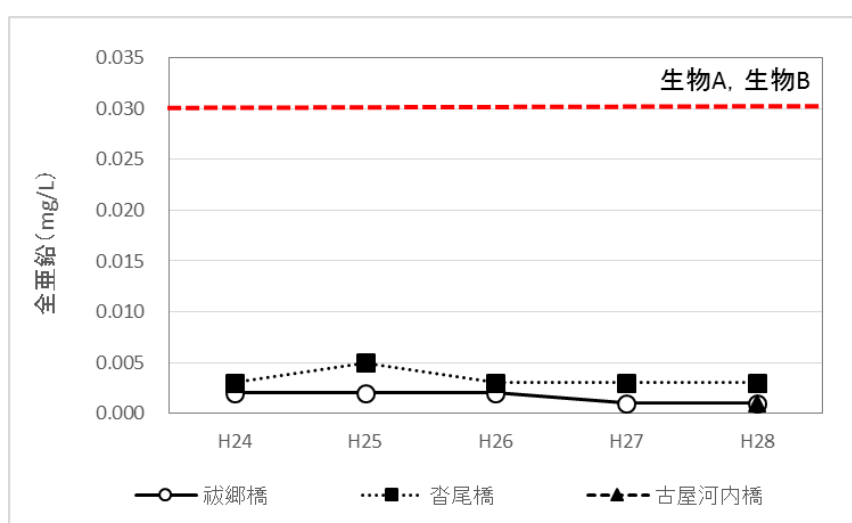


図4-1-1 全亜鉛の水質測定結果（祓川）

(3) ノニルフェノール

ノニルフェノールについて過去3年間に行われた水質測定結果を表4-1-3及び図4-1-2に示す。

なお、古屋河内橋は、当該地点付近から上流において冷水性の魚介類の生息が確認されたことから、平成28年度に補足調査を実施した地点である。

参考までに環境基準値と比較したところ、全ての地点において生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

表4-1-3 ノニルフェノールの水質測定結果（祓川）

調査地点	年度	ノニルフェノール(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
祓郷橋	H26	<0.00006	～	0.0014	0.00041	4
	H27	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	H28	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	平均		—		0.00018	—
沓尾橋	H26	<0.00006	～	0.00010	0.00007	4
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	H28	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	平均		—		0.00006	—
古屋河内橋	H28	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4

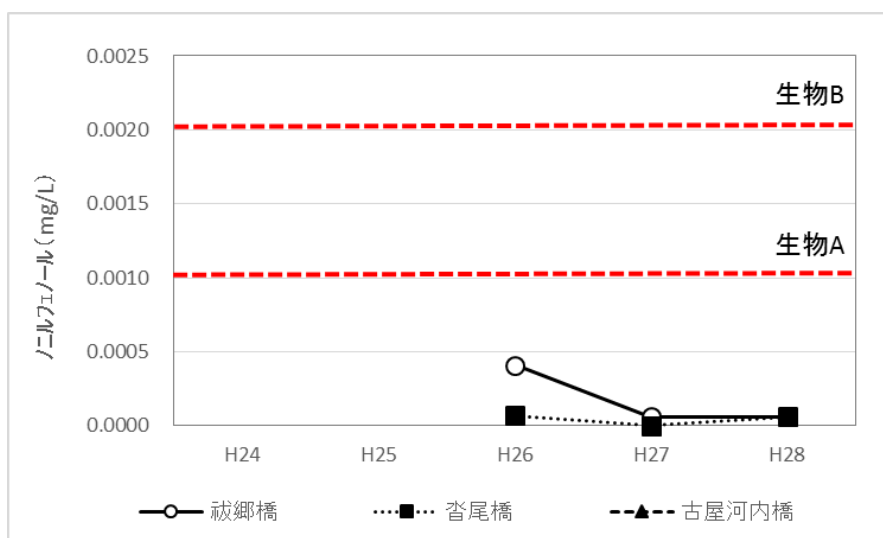


図4-1-2 ノニルフェノールの水質測定結果（祓川）

(4) LAS

LAS について過去 3 年間に行われた水質測定結果を表 4-1-4 及び図 4-1-3 に示す。

なお、古屋河内橋は、当該地点付近から上流において冷水性の魚介類の生息が確認されたことから、平成 28 年度に補足調査を実施した地点である。

参考までに環境基準値と比較したところ、全ての地点において生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 4-1-4 LAS の水質測定結果（祓川）

調査地点	年度	LAS(mg/L)				測定回数
		最小	～	最大	平均値	
祓郷橋	H26	<0.0006	～	0.0068	0.0033	4
	H27	<0.0006	～	0.0014	0.0009	4
	H28	<0.0006	～	0.0008	0.0007	4
	平均		—		0.0016	—
沓尾橋	H26	0.0036	～	0.063	0.022	4
	H27	0.0034	～	0.0069	0.0048	4
	H28	0.0006	～	0.0053	0.0036	4
	平均		—		0.010	—
古屋河内橋	H28	<0.0006	～	0.0053	0.0018	4

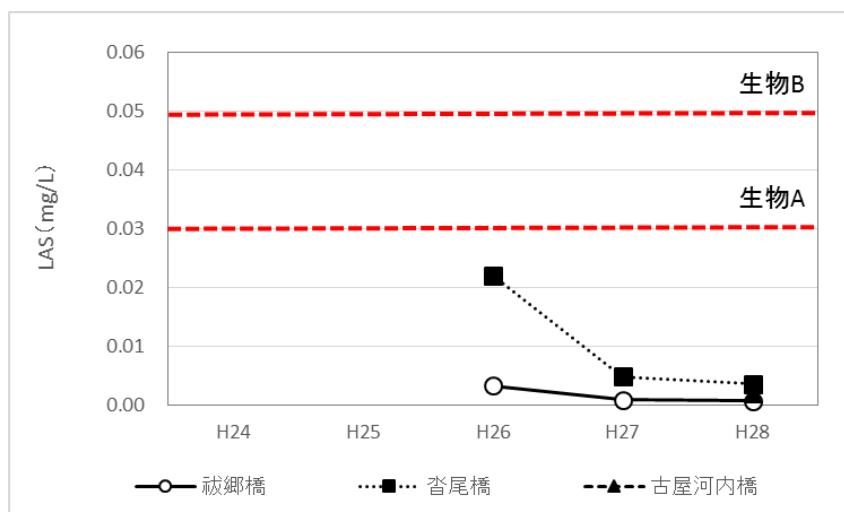


図 4-1-3 LAS の水質測定結果（祓川）

4-2 水温

過去5年間に行われた水質測定における水温の測定結果を表4-2-1に示す。

なお、古屋河内橋は、当該地点付近から上流において冷水性の魚介類の生息が確認されたことから、平成28年度に補足調査を実施した地点である。

表4-2-1 水温測定結果（祓川）

調査地点	年度	水温(°C)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
祓郷橋	H24	5.5	～	26.6	16.4	12
	H25	5.5	～	28.6	16.3	12
	H26	6.1	～	24.5	15.5	12
	H27	8.6	～	29.6	17.4	12
	H28	8.1	～	29.5	16.7	12
	平均		—		16.5	—
沓尾橋	H24	7.1	～	29.9	18.9	12
	H25	4.9	～	29.2	17.7	12
	H26	6.5	～	27.4	17.8	12
	H27	7.7	～	35.7	18.0	12
	H28	10.0	～	32.4	18.9	12
	平均		—		18.3	—
古屋河内橋	H28	6.6	～	22.7	14.3	12

4-3 水生生物の生息状況

現地調査及び既存文献から情報収集を行った結果を図4-3-1に示す。

図4-3-1に示すとおり、温水性の魚介類の生息がダム上流地点（古屋河内橋）より下流の広範囲において確認された。

また、冷水性の魚介類であるヤマメについて、過去にダム計画地点直下流（龍毛橋）で生息が確認されているが、平成27年度の調査では鳥越橋から上流において生息が確認された。

図 4-3-1 水生生物の生息状況（祓川）

4-4 その他関連事項

(1) 漁業法に基づく内水面共同漁業権の設定状況

内共第7号共同漁業権が設定されており、京二川漁業協同組合が免許を取得している。

(2) 水産動物の放流状況

京二川漁業協同組合による放流が行われている。

(3) 漁業協同組合へのヒアリング結果

京二川漁業協同組合へのヒアリングで、荒瀬橋より上流域でヤマメの放流を行っているとの情報が得られた。ヤマメの放流区間を図4-4-1に示す。

(4) 福岡県内水面漁業調整規則に基づく水産動植物採捕の許可状況

シラスウナギの採捕の許可を取得し、採捕を行っている者がいる。

(5) 建設中の伊良原ダムの状況

現在、上流域に伊良原ダム（貯水量約28,700,000 m³）が建設され、試験湛水を開始している。なお、龍毛橋上流付近から古屋河内橋下流までが湛水区域となる予定である。

希少種・重要種等の情報を含むため委員限り

図 4-4-1 ヤマメの放流状況（祓川）

5 音無川

5-1 水質

(1) BOD

BOD について過去 5 年間に行われた水質測定結果を表 5-1-1 に示す。

BOD (75%値) は、平成 26 及び 28 年度を除いた各年度で環境基準を達成している。

表 5-1-1 BOD の水質測定結果 (音無川)

水域名 [類型]	調査地点	年度	BOD(mg/L)					
			最小	～	最大	75%値	測定回数	基準値
音無川 [A]	松原橋	H24	1.0	～	3.1	1.8	12	2 以下
		H25	<0.5	～	2.7	1.7	12	
		H26	0.7	～	7.5	2.6	12	
		H27	0.6	～	2.3	1.6	12	
		H28	0.7	～	2.3	2.1	12	
		平均		—			2.0	

(2) 全亜鉛

全亜鉛について過去5年間に行われた水質測定結果を表5-1-2及び図5-1-1に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

表5-1-2 全亜鉛の水質測定結果（音無川）

調査地点	年度	全亜鉛(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
松原橋	H24	0.001	～	0.003	0.002	4
	H25	<0.001	～	0.004	0.002	4
	H26	0.001	～	0.009	0.004	4
	H27	0.001	～	0.005	0.003	4
	H28	<0.001	～	0.004	0.002	4
	平均			—	0.003	—

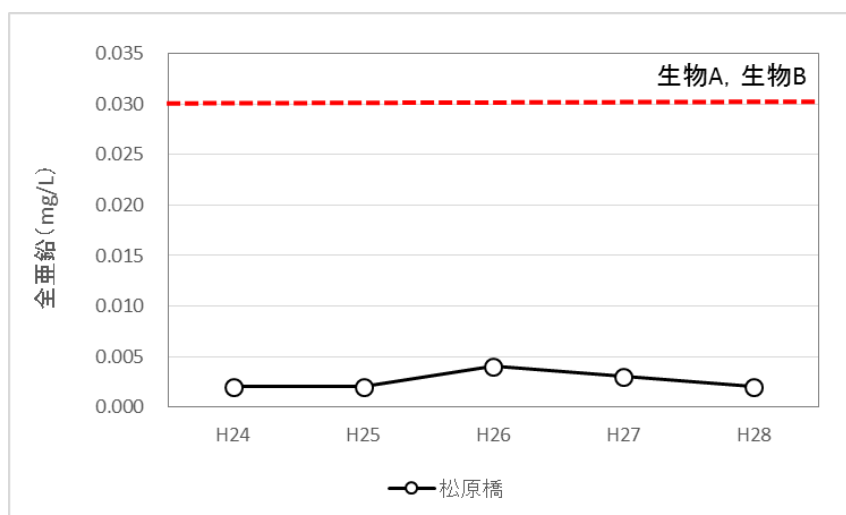


図5-1-1 全亜鉛の水質測定結果（音無川）

(3) ノニルフェノール

ノニルフェノールについて過去3年間に行われた水質測定結果を表5-1-3及び図5-1-2に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

表 5-1-3 ノニルフェノールの水質測定結果（音無川）

調査地点	年度	ノニルフェノール(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
松原橋	H26	<0.00006	～	0.00007	0.00006	4
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	H28	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	平均	—			0.00006	—

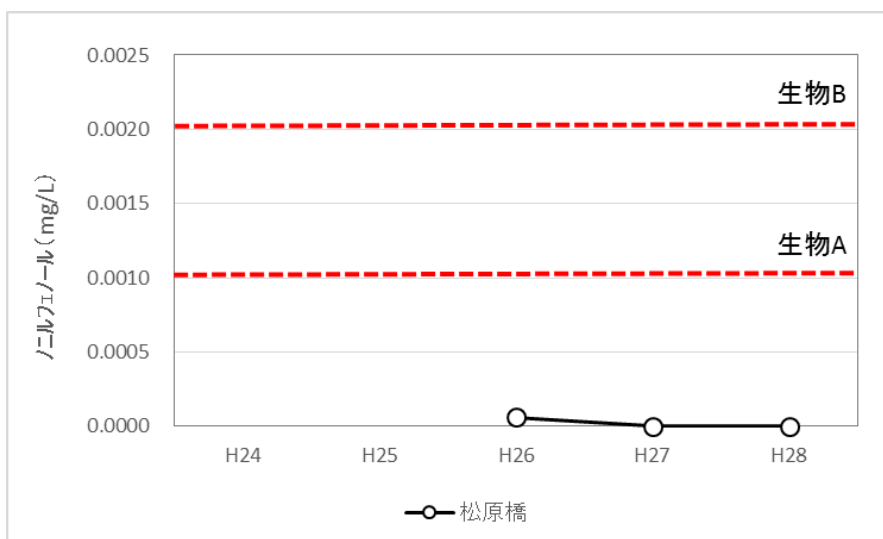


図 5-1-2 ノニルフェノールの水質測定結果（音無川）

(4) LAS

LAS について過去 3 年間に行われた水質測定結果を表 5-1-4 及び図 5-1-3 に示す。
 参考までに環境基準値と比較したところ、生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 5-1-4 LAS の水質測定結果（音無川）

調査地点	年度	LAS(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
松原橋	H26	0.0014	～	0.013	0.0061	4
	H27	0.0010	～	0.011	0.0047	4
	H28	<0.0006	～	0.0062	0.0040	4
	平均	—			0.0049	—

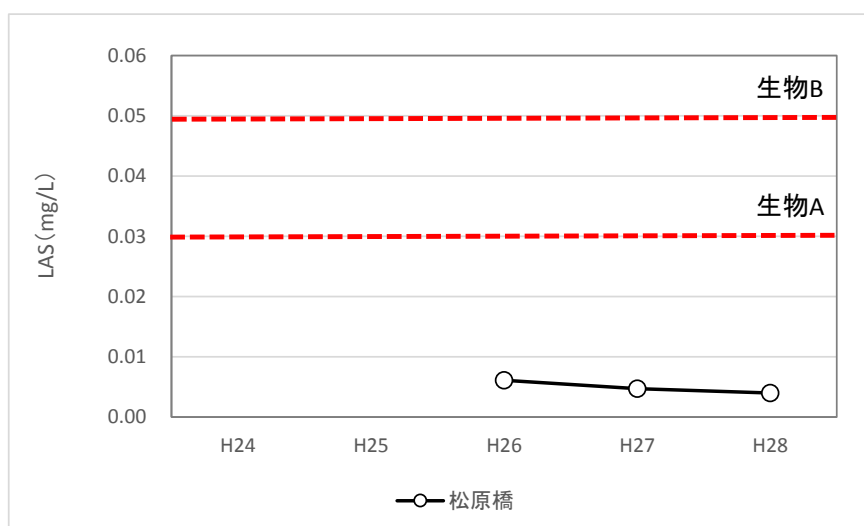


図 5-1-3 LAS の水質測定結果（音無川）

5-2 水温

過去5年間に行われた水質測定における水温の測定結果を表5-2-1に示す。

表 5-2-1 水温測定結果（音無川）

調査地点	年度	水温(°C)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
松原橋	H24	5.5	～	28.2	16.5	12
	H25	5.8	～	27.8	16.1	12
	H26	6.3	～	26.1	16.0	12
	H27	8.6	～	29.6	17.4	12
	H28	8.3	～	27.6	17.1	12
	平均		—		16.6	—

5-3 水生生物の生息状況

現地調査及び既存文献から情報収集を行った結果を図5-3-1に示す。

図5-3-1に示すとおり、冷水性魚介類の生息は確認されなかった。また、全域で温水性魚介類の生息が確認された。

希少種・重要種等の情報を含むため委員限り

図 5-3-1 水生生物の生息状況（音無川）

5-4 その他関連事項

- (1) 漁業法に基づく内水面共同漁業権の設定状況
内水面共同漁業権の設定はない。

- (2) 福岡県内水面漁業調整規則に基づく水産動植物採捕の許可状況
シラスウナギの採捕の許可を取得し、採捕を行っている者がいる。

6 城井川

6-1 水質

(1) BOD

BOD について過去 5 年間に行われた水質測定結果を表 6-1-1 に示す。

BOD（75%値）は、赤幡橋では平成 24 及び 26 年度を除いた各年度で環境基準を達成している。また、浜宮橋では全ての年度で環境基準を達成している。

表 6-1-1 BOD の水質測定結果（城井川）

水域名 [類型]	調査地点	年度	BOD(mg/L)					
			最小	～	最大	75%値	測定回数	基準値
城井川上流 [AA]	赤幡橋	H24	<0.5	～	1.8	1.4	12	1 以下
		H25	<0.5	～	1.4	1.0	12	
		H26	<0.5	～	4.9	1.4	12	
		H27	<0.5	～	1.8	0.7	12	
		H28	<0.5	～	1.4	0.9	12	
		平均		—		1.1	—	
城井川下流 [A]	浜宮橋	H24	0.7	～	3.1	1.3	12	2 以下
		H25	0.5	～	1.8	1.6	12	
		H26	<0.5	～	4.7	1.6	12	
		H27	<0.5	～	1.3	0.9	12	
		H28	0.5	～	1.6	1.0	12	
		平均		—		1.3	—	

(2) 全亜鉛

全亜鉛について過去5年間に行われた水質測定結果を表 6-1-2 及び図 6-1-1 に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、全ての地点において生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 6-1-2 全亜鉛の水質測定結果（城井川）

調査地点	年度	全亜鉛(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
赤幡橋	H24	<0.001	～	0.004	0.002	4
	H25	<0.001	～	<0.001	<0.001	4
	H26	<0.001	～	0.002	0.001	4
	H27	<0.001	～	<0.001	<0.001	4
	H28	<0.001	～	0.002	0.001	4
	平均		—		0.001	—
浜宮橋	H24	<0.001	～	0.002	0.001	4
	H25	<0.001	～	0.001	0.001	4
	H26	<0.001	～	0.003	0.002	4
	H27	<0.001	～	0.002	0.001	4
	H28	<0.001	～	0.001	0.001	4
	平均		—		0.001	—

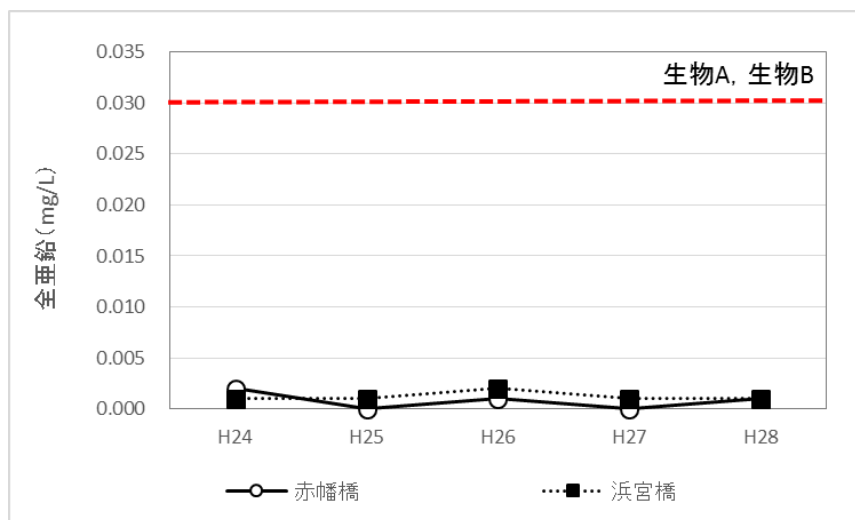


図 6-1-1 全亜鉛の水質測定結果（城井川）

(3) ノニルフェノール

ノニルフェノールについて過去3年間に行われた水質測定結果を表6-1-3及び図6-1-2に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、全ての地点において生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

表 6-1-3 ノニルフェノールの水質測定結果（城井川）

調査地点	年度	ノニルフェノール(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
赤幡橋	H26	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	H28	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	平均		—		0.00006	—
浜宮橋	H26	<0.00006	～	0.00009	0.00007	4
	H27	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	H28	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	平均		—		0.00006	—

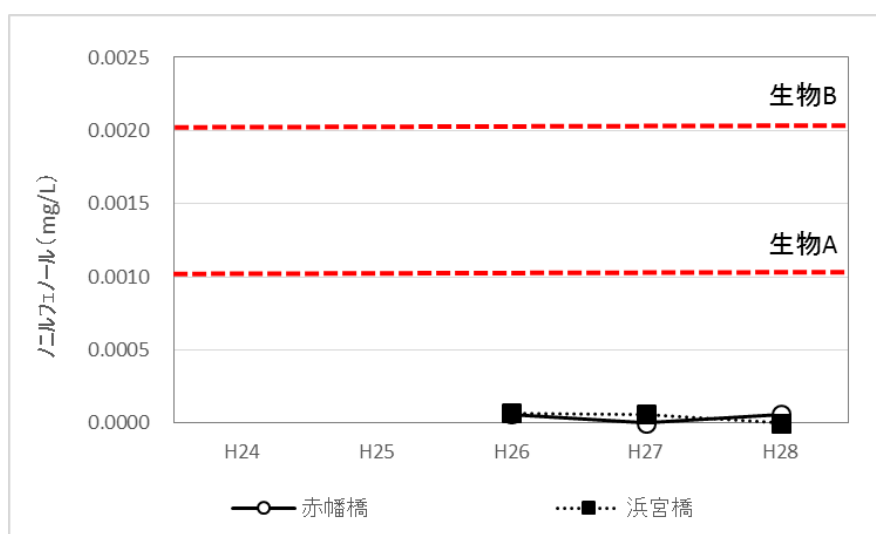


図 6-1-2 ノニルフェノールの水質測定結果（城井川）

(4) LAS

LAS について過去 3 年間に行われた水質測定結果を表 6-1-4 及び図 6-1-3 に示す。
 参考までに環境基準値と比較したところ、全ての地点において生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 6-1-4 LAS の水質測定結果（城井川）

調査地点	年度	LAS(mg/L)				測定回数
		最小	～	最大	平均値	
赤幡橋	H26	<0.0006	～	0.0033	0.0023	4
	H27	<0.0006	～	0.0010	0.0008	4
	H28	<0.0006	～	0.0006	0.0006	4
	平均	—			0.0012	—
浜宮橋	H26	<0.0006	～	0.0036	0.0016	4
	H27	<0.0006	～	0.0010	0.0008	4
	H28	<0.0006	～	0.0006	0.0006	4
	平均	—			0.0010	—

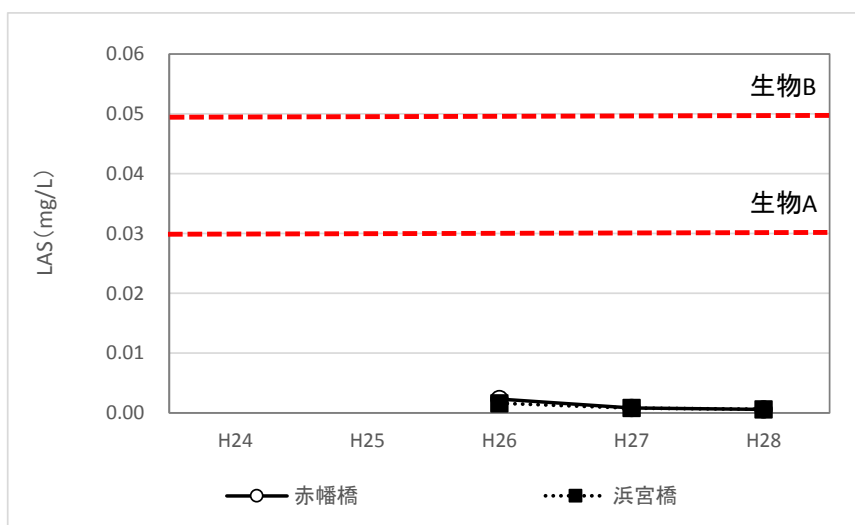


図 6-1-3 LAS の水質測定結果（城井川）

6-2 水温

過去5年間に行われた水質測定における水温の測定結果を表6-2-1に示す。

表 6-2-1 水温測定結果（城井川）

調査地点	年度	水温(°C)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
赤幡橋	H24	6.5	～	27.5	16.2	12
	H25	5.9	～	27.6	16.1	12
	H26	6.8	～	23.8	15.6	12
	H27	7.3	～	27.4	15.7	12
	H28	8.1	～	27.0	16.3	12
	平均		—		16.0	—
浜宮橋	H24	8.6	～	29.7	19.5	12
	H25	7.9	～	29.3	19.4	12
	H26	7.5	～	26.6	17.4	12
	H27	8.2	～	37.1	18.2	12
	H28	10.9	～	34.2	19.8	12
	平均		—		18.9	—

6-3 水生生物の生息状況

現地調査及び既存文献から情報収集を行った結果を図6-3-1に示す。

河川環境情報図⑦（龍神橋）より下流で温水性の魚介類の生息が確認された。

また、河川環境情報図⑩（畔津大橋）でニジマスが確認された調査結果があるが、当該調査以外では冷水性の魚介類の生息は確認されていない。このため、ニジマスは、二級河川の区間内に常に生息しているものではないと推測される。

希少種・重要種等の情報を含むため委員限り

図 6-3-1 水生生物の生息状況（城井川）

6-4 その他関連事項

(1) 漁業法に基づく内水面共同漁業権の設定状況
内水面共同漁業権の設定はない。

(2) 福岡県内水面漁業調整規則に基づく水産動植物採捕の許可状況
シラスウナギの採捕の許可を取得し、採捕を行っている者がいる。

7 岩丸川

7-1 水質

(1) BOD

BOD について過去 5 年間に行われた水質測定結果を表 7-1-1 に示す。

BOD (75%値) は、平成 26 年度を除き各年度ともに環境基準を達成している。

表 7-1-1 BOD の水質測定結果 (岩丸川)

水域名 [類型]	調査地点	年度	BOD(mg/L)					
			最小	～	最大	75%値	測定回数	基準値
岩丸川 [A]	西の橋	H24	0.8	～	2.6	1.9	12	2 以下
		H25	0.7	～	2.2	1.5	12	
		H26	0.5	～	6.0	2.3	12	
		H27	0.6	～	1.9	1.2	12	
		H28	0.5	～	2.0	1.5	12	
		平均	—			1.7	—	

(2) 全亜鉛

全亜鉛について過去5年間に行われた水質測定結果を表 7-1-2 及び図 7-1-1 に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 7-1-2 全亜鉛の水質測定結果（岩丸川）

調査地点	年度	全亜鉛(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
西の橋	H24	<0.001	～	0.003	0.002	4
	H25	<0.001	～	0.002	0.002	4
	H26	0.001	～	0.004	0.002	4
	H27	<0.001	～	0.004	0.002	4
	H28	<0.001	～	0.003	0.002	4
	平均			—		0.002

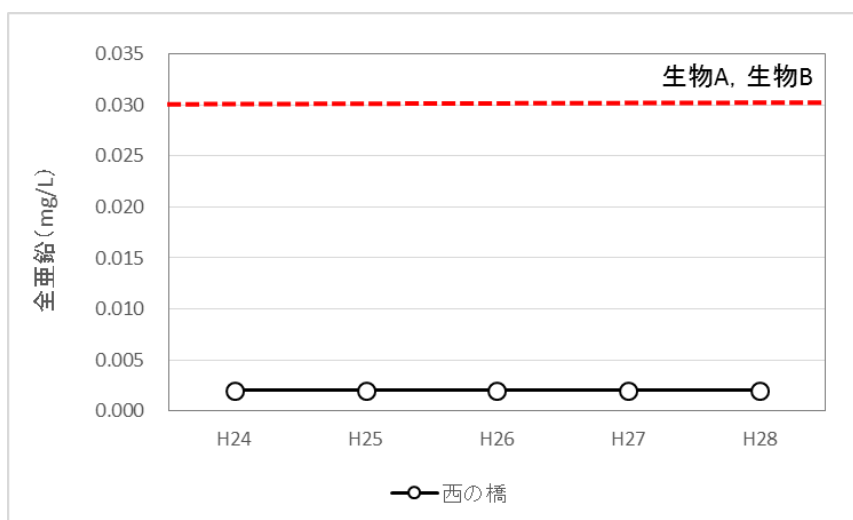


図 7-1-1 全亜鉛の水質測定結果（岩丸川）

(3) ノニルフェノール

ノニルフェノールについて過去3年間に行われた水質測定結果を表7-1-3及び図7-1-2に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

表 7-1-3 ノニルフェノールの水質測定結果（岩丸川）

調査地点	年度	ノニルフェノール(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
西の橋	H26	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	H28	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	平均		—		0.00006	—

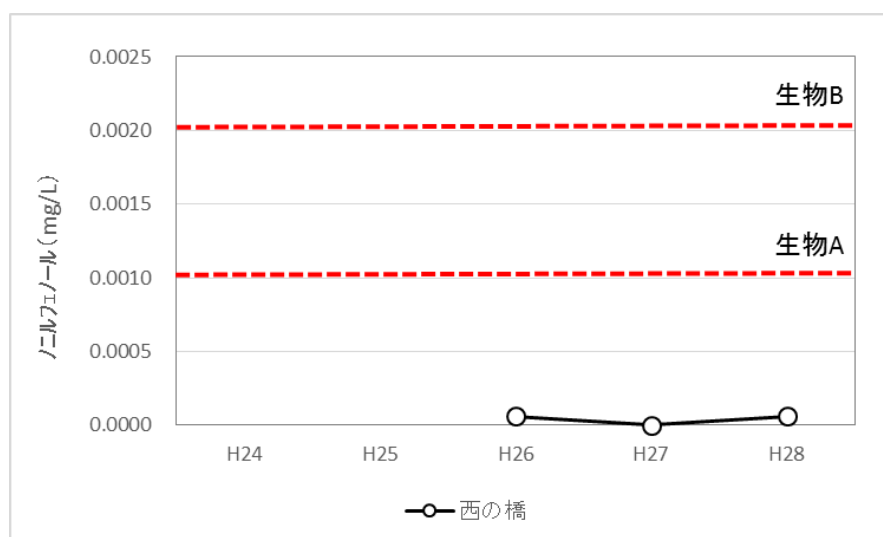


図 7-1-2 ノニルフェノールの水質測定結果（岩丸川）

(4) LAS

LAS について過去3年間に行われた水質測定結果を表 7-1-4 及び図 7-1-3 に示す。
 参考までに環境基準値と比較したところ、生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 7-1-4 LAS の水質測定結果 (岩丸川)

調査地点	年度	LAS(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
西の橋	H26	0.0010	～	0.017	0.0089	4
	H27	0.0008	～	0.0056	0.0024	4
	H28	<0.0006	～	0.0036	0.0017	4
	平均	—			0.0043	—

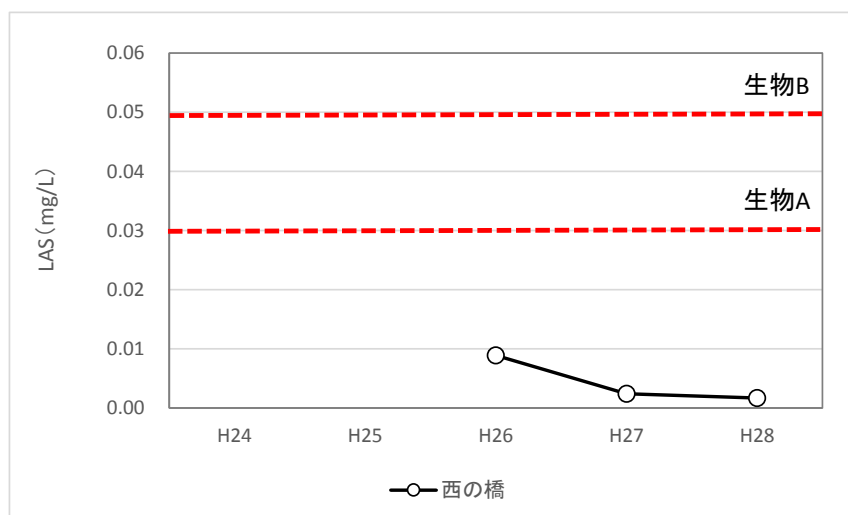


図 7-1-3 LAS の水質測定結果 (岩丸川)

7-2 水温

過去5年間に行われた水質測定における水温の測定結果を表7-2-1に示す。

表 7-2-1 水温測定結果（岩丸川）

調査地点	年度	水温(°C)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
西の橋	H24	6.8	～	29.0	17.6	12
	H25	6.7	～	28.4	17.2	12
	H26	6.3	～	26.6	17.0	12
	H27	7.6	～	32.1	17.0	12
	H28	8.9	～	30.1	18.1	12
	平均			—	17.4	—

7-3 水生生物の生息状況

現地調査及び既存文献から情報収集を行った結果を図7-3-1に示す。

図7-3-1に示すとおり、冷水性魚介類の生息は確認されなかった。また、引金橋橋付近（下流域）で温水性の魚介類の生息が確認された。

希少種・重要種等の情報を含むため委員限り

図 7-3-1 水生生物の生息状況（岩丸川）

7-4 その他関連事項

(1) 漁業法に基づく内水面共同漁業権の設定状況

内水面共同漁業権の設定はない。

(2) 福岡県内水面漁業調整規則に基づく水産動植物採捕の許可状況

水産動植物採捕の許可による慣習的な採捕は行われていない。

8 真如寺川

8-1 水質

(1) BOD

BOD について過去 5 年間に行われた水質測定結果を表 8-1-1 に示す。

BOD (75%値) は、平成 24 及び 26 年度を除き各年度とも環境基準を達成している。

表 8-1-1 BOD の水質測定結果 (真如寺川)

水域名 [類型]	調査地点	年度	BOD(mg/L)					
			最小	～	最大	75%値	測定回数	基準値
真如寺川 [A]	吾妻橋	H24	0.8	～	4.3	2.2	12	2 以下
		H25	0.8	～	4.4	1.7	12	
		H26	0.5	～	3.1	2.2	12	
		H27	<0.5	～	2.2	1.3	12	
		H28	0.5	～	2.4	1.6	12	
		平均	—	—	—	—	—	

(2) 全亜鉛

全亜鉛について過去5年間に行われた水質測定結果を表 8-1-2 及び図 8-1-1 に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 8-1-2 全亜鉛の水質測定結果（真如寺川）

調査地点	年度	全亜鉛(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
吾妻橋	H24	<0.001	～	0.003	0.002	4
	H25	<0.001	～	0.002	0.001	4
	H26	<0.001	～	0.004	0.002	4
	H27	<0.001	～	0.006	0.002	4
	H28	<0.001	～	0.002	0.001	4
	平均		—			0.002

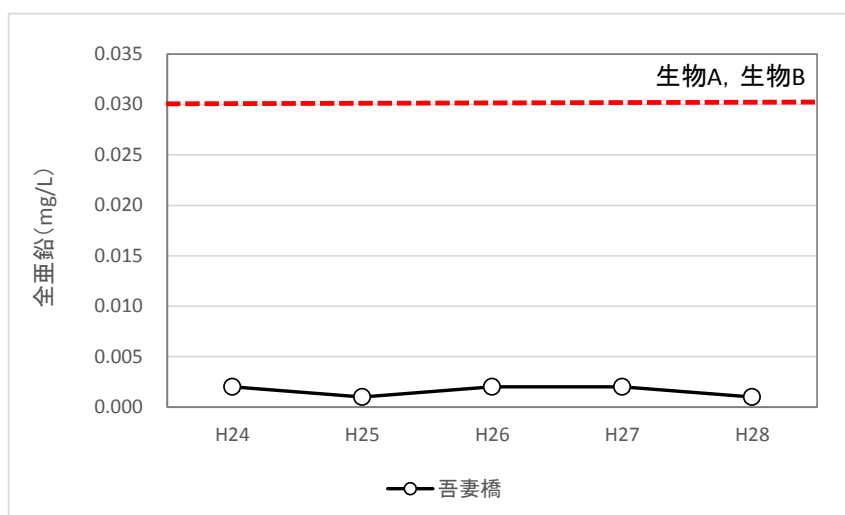


図 8-1-1 全亜鉛の水質測定結果（真如寺川）

(3) ノニルフェノール

ノニルフェノールについて過去3年間に行われた水質測定結果を表8-1-3及び図8-1-2に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

表 8-1-3 ノニルフェノールの水質測定結果（真如寺川）

調査地点	年度	ノニルフェノール(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
吾妻橋	H26	<0.00006	～	0.0011	0.00032	4
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	H28	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	平均	—			0.00015	—

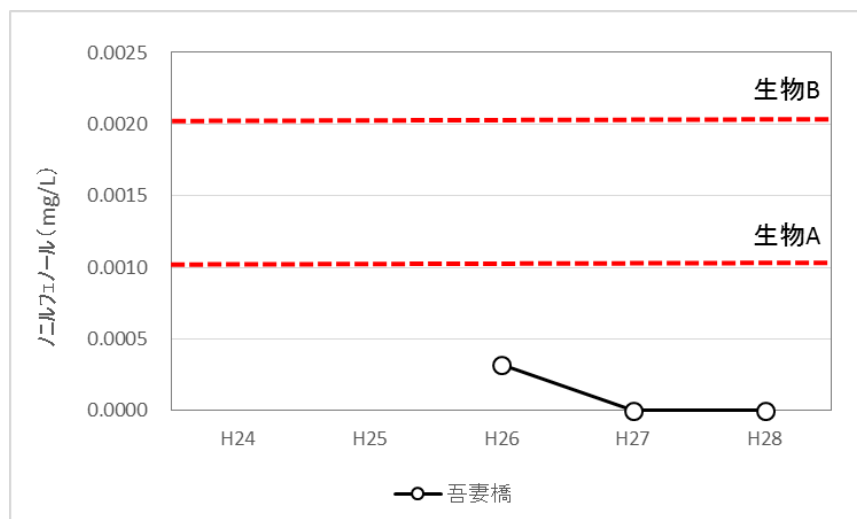


図 8-1-2 ノニルフェノールの水質測定結果（真如寺川）

(4) LAS

LAS について過去3年間に行われた水質測定結果を表 8-1-4 及び図 8-1-3 に示す。
 参考までに環境基準値と比較したところ、生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 8-1-4 LAS の水質測定結果（真如寺川）

調査地点	年度	LAS(mg/L)				測定回数
		最小	～	最大	平均値	
吾妻橋	H26	0.0015	～	0.017	0.0086	4
	H27	0.0006	～	0.0091	0.0036	4
	H28	0.0008	～	0.0090	0.0046	4
	平均	—			0.0056	—

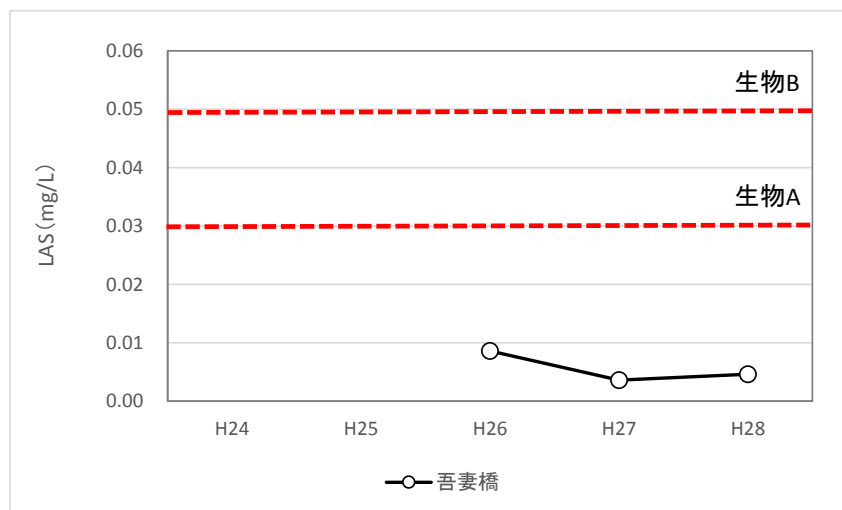


図 8-1-3 LAS の水質測定結果（真如寺川）

8-2 水温

過去5年間に行われた水質測定における水温の測定結果を表8-2-1に示す。

表 8-2-1 水温測定結果（真如寺川）

調査地点	年度	水温(°C)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
吾妻橋	H24	6.3	～	28.6	16.9	12
	H25	6.0	～	28.5	16.6	12
	H26	5.9	～	26.1	16.3	12
	H27	7.0	～	28.5	16.5	12
	H28	8.3	～	30.0	17.5	12
	平均			—	16.8	—

8-3 水生生物の生息状況

現地調査及び既存文献から情報収集を行った結果を図8-3-1に示す。

図8-3-1に示すとおり、冷水性魚介類の生息は確認されなかった。また、全域において温水性の魚介類の生息が確認された。

図 8-3-1 水生生物の生息状況（真如寺川）

8-4 その他関連事項

- (1) 漁業法に基づく内水面共同漁業権の設定状況
内水面共同漁業権の設定はない。

- (2) 福岡県内水面漁業調整規則に基づく水産動植物採捕の許可状況
水産動植物採捕の許可による慣習的な採捕は行われていない。

9 中川

9-1 水質

(1) BOD

BOD について過去 5 年間に行われた水質測定結果を表 9-1-1 に示す。

BOD（75%値）は、平成 26 年度を除き各年度とも環境基準を達成している。

表 9-1-1 BOD の水質測定結果（中川）

水域名 [類型]	調査地点	年度	BOD(mg/L)					
			最小	～	最大	75%値	測定回数	基準値
中川 [A]	橋の上堰	H24	0.9	～	3.2	1.9	12	2 以下
		H25	1.0	～	4.7	2.0	12	
		H26	0.8	～	4.2	2.3	12	
		H27	0.6	～	2.3	1.4	12	
		H28	0.6	～	2.8	1.6	12	
		平均		—		1.8	—	

(2) 全亜鉛

全亜鉛について過去5年間に行われた水質測定結果を表 9-1-2 及び図 9-1-1 に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 9-1-2 全亜鉛の水質測定結果 (中川)

調査地点	年度	全亜鉛(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
橋の上堰	H24	0.001	～	0.003	0.002	4
	H25	<0.001	～	0.002	0.001	4
	H26	<0.001	～	0.004	0.003	4
	H27	0.001	～	0.005	0.003	4
	H28	0.001	～	0.003	0.002	4
	平均			—		0.002

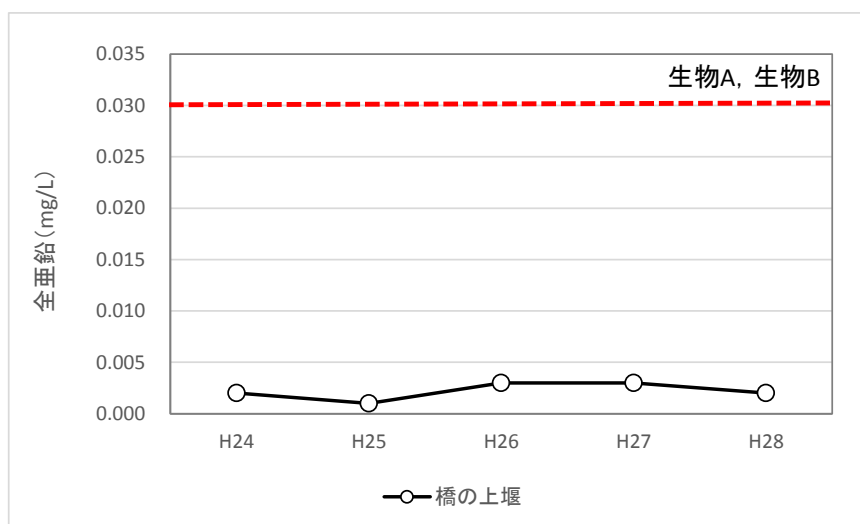


図 9-1-1 全亜鉛の水質測定結果 (中川)

(3) ノニルフェノール

ノニルフェノールについて過去3年間に行われた水質測定結果を表9-1-3及び図9-1-2に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

表9-1-3 ノニルフェノールの水質測定結果（中川）

調査地点	年度	ノニルフェノール(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
橋の上堰	H26	<0.00006	～	0.00007	0.00006	4
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	H28	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	平均	—			0.00006	—

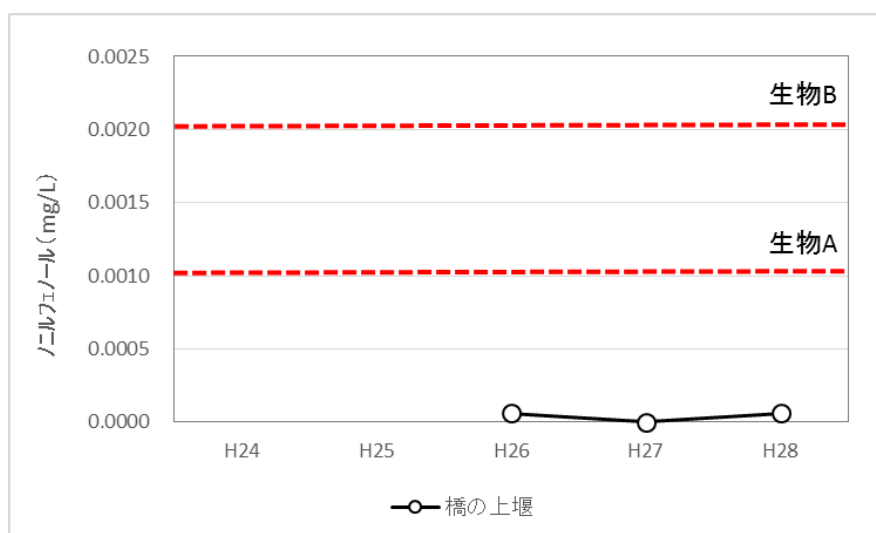


図9-1-2 ノニルフェノールの水質測定結果（中川）

(4) LAS

LAS について過去 3 年間に行われた水質測定結果を表 9-1-4 及び図 9-1-3 に示す。
 参考までに環境基準値と比較したところ、生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 9-1-4 LAS の水質測定結果（中川）

調査地点	年度	LAS(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
橋の上堰	H26	0.0013	～	0.047	0.018	4
	H27	0.0029	～	0.0062	0.0046	4
	H28	<0.0006	～	0.0081	0.0044	4
	平均	—			0.0090	—

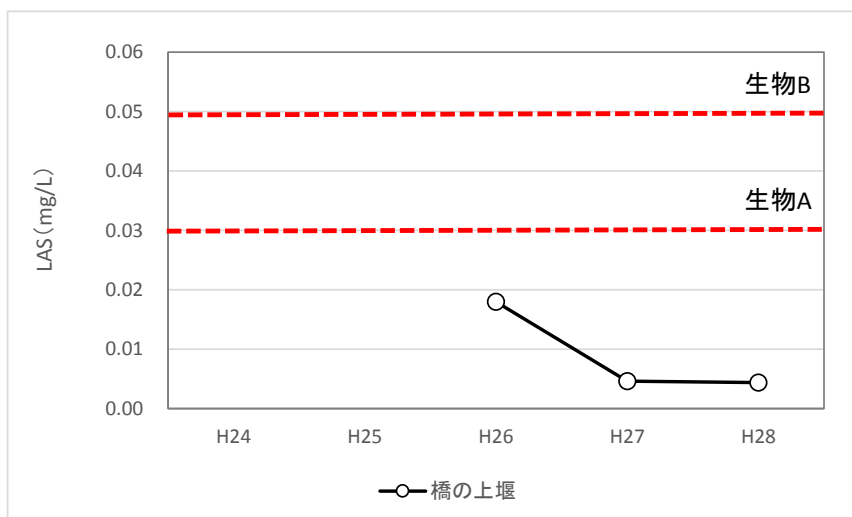


図 9-1-3 LAS の水質測定結果（中川）

9-2 水温

過去5年間に行われた水質測定における水温の測定結果を表9-2-1に示す。

表9-2-1 水温測定結果（中川）

調査地点	年度	水温(°C)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
橋の上堰	H24	6.2	～	30.1	17.5	12
	H25	6.3	～	30.0	16.8	12
	H26	5.7	～	26.1	16.3	12
	H27	7.5	～	30.5	16.6	12
	H28	8.1	～	30.4	17.6	12
	平均		—		17.0	—

9-3 水生生物の生息状況

現地調査及び既存文献から情報収集を行った結果を図9-3-1に示す。

図9-3-1に示すとおり、冷水性魚介類の生息は確認されなかった。また、全域において温水性の魚介類の生息が確認された。

希少種・重要種等の情報を含むため委員限り

図 9-3-1 水生生物の生息状況（中川）

9-4 その他関連事項

- (1) 漁業法に基づく内水面共同漁業権の設定状況
内水面共同漁業権の設定はない。

- (2) 福岡県内水面漁業調整規則に基づく水産動植物採捕の許可状況
シラスウナギの採捕の許可を取得し、採捕を行っている者がいる。

10 岩岳川

10-1 水質

(1) BOD

BODについて過去5年間に行われた水質測定結果を表10-1-1に示す。

なお、向田橋は、当該地点付近から上流において冷水性の魚介類の生息が確認されたことから、平成28年度に補足調査を実施した地点である。

BOD(75%値)は、平成26年度を除き各年度とも環境基準を達成している。

表 10-1-1 BODの水質測定結果(岩岳川)

水域名 [類型]	調査地点	年度	BOD(mg/L)					
			最小	～	最大	75%値	測定回数	基準値
岩岳川 [A]	沓洗橋	H24	0.7	～	2.0	1.9	12	2以下
		H25	0.8	～	2.0	1.7	12	
		H26	0.5	～	6.3	2.5	12	
		H27	0.5	～	1.8	1.2	12	
		H28	0.6	～	3.8	1.5	12	
		平均		—		1.8	—	
岩岳川 [A]	向田橋	H28	<0.5	～	0.5	0.5	4	2以下

(2) 全亜鉛

全亜鉛について過去5年間に行われた水質測定結果を表 10-1-2 及び図 10-1-1 に示す。

なお、向田橋は、当該地点付近から上流において冷水性の魚介類の生息が確認されたことから、平成 28 年度に補足調査を実施した地点である。

参考までに環境基準値と比較したところ、全ての地点において生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 10-1-2 全亜鉛の水質測定結果（岩岳川）

調査地点	年度	全亜鉛(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
沓洗橋	H24	0.001	～	0.002	0.002	4
	H25	<0.001	～	0.003	0.002	4
	H26	<0.001	～	0.008	0.004	4
	H27	0.001	～	0.004	0.002	4
	H28	<0.001	～	0.006	0.003	4
	平均	—	—	—	0.003	—
向田橋	H28	<0.001	～	<0.001	<0.001	4

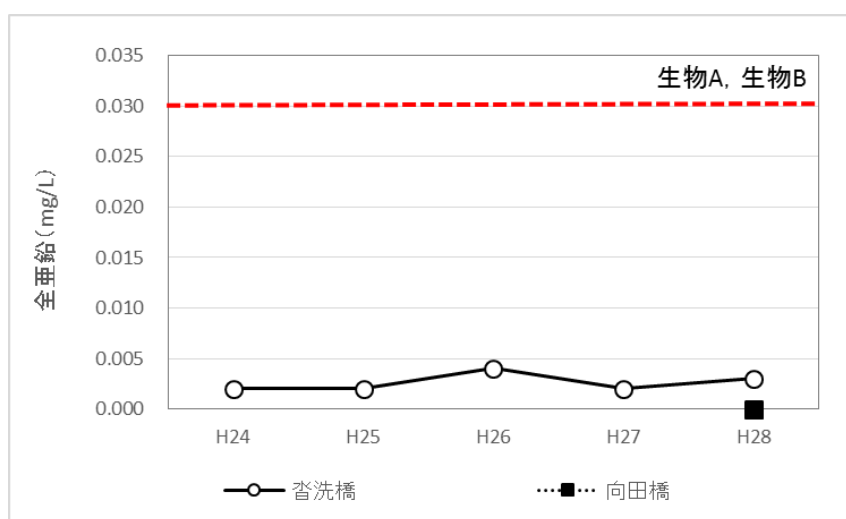


図 10-1-1 全亜鉛の水質測定結果（岩岳川）

(3) ノニルフェノール

ノニルフェノールについて過去3年間に行われた水質測定結果を表10-1-3及び図10-1-2に示す。

なお、向田橋は、当該地点付近から上流において冷水性の魚介類の生息が確認されたことから、平成28年度に補足調査を実施した地点である。

参考までに環境基準値と比較したところ、全ての地点において生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

表 10-1-3 ノニルフェノールの水質測定結果（岩岳川）

調査地点	年度	ノニルフェノール(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
沓洗橋	H26	<0.00006	～	0.00010	0.00007	4
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	H28	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	平均		—		0.00006	—
向田橋	H28	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4

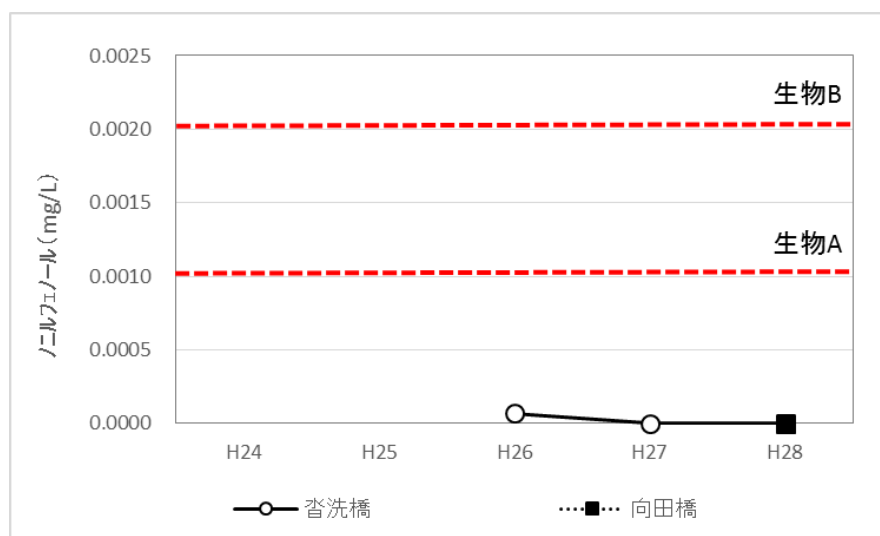


図 10-1-2 ノニルフェノールの水質測定結果（岩岳川）

(4) LAS

LAS について過去 3 年間に行われた水質測定結果を表 10-1-4 及び図 10-1-3 に示す。

なお、向田橋は、当該地点付近から上流において冷水性の魚介類の生息が確認されたことから、平成 28 年度に補足調査を実施した地点である。

参考までに環境基準値と比較したところ、全ての地点において生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 10-1-4 LAS の水質測定結果（岩岳川）

調査地点	年度	LAS(mg/L)				測定回数
		最小	～	最大	平均値	
沓洗橋	H26	0.0033	～	0.017	0.0092	4
	H27	0.0022	～	0.0051	0.0034	4
	H28	0.0020	～	0.0069	0.0037	4
	平均	—			0.0054	—
向田橋	H28	<0.0006	～	0.0008	0.0007	4

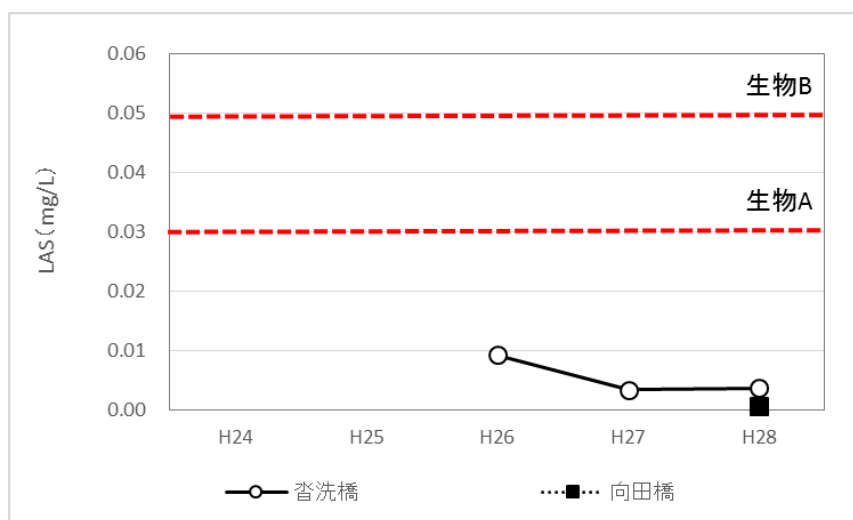


図 10-1-3 LAS の水質測定結果（岩岳川）

10-2 水温

過去5年間に行われた水質測定における水温の測定結果を表10-2-1に示す。

なお、向田橋は、当該地点付近から上流において冷水性の魚介類の生息が確認されたことから、平成28年度に補足調査を実施した地点である。

表 10-2-1 水温測定結果（岩岳川）

調査地点	年度	水温(°C)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
沓洗橋	H24	6.3	～	27.4	16.8	12
	H25	6.0	～	28.5	16.5	12
	H26	6.4	～	24.9	16.1	12
	H27	8.2	～	27.5	16.2	12
	H28	8.2	～	29.7	17.5	12
	平均		—		16.6	—
向田橋	H28	6.6	～	23.0	14.2	4

10-3 水生生物の生息状況

現地調査及び既存文献から情報収集を行った結果を図10-3-1に示す。

全域で温水性の魚介類の生息が確認された。また、15.6k付近でヤマメの生息が確認された調査結果があるが、当該調査以外では冷水性の魚介類の生息は確認されていない。このため、ヤマメは、二級河川の区間内に常に生息しているものではないと推測される。

図 10-3-1 水生生物の生息状況（岩岳川）

10-4 その他関連事項

(1) 漁業法に基づく内水面共同漁業権の設定状況

内共第8号共同漁業権が設定されており、岩岳川漁業協同組合が免許を取得している。

(2) 水産動物の放流状況

岩岳川漁業協同組合による放流が行われている。

(3) 漁業協同組合へのヒアリング結果

岩岳川漁業協同組合へのヒアリングで、ヤマメは向田橋より上流域及び支流の枝川内川で、アユは向田橋より下流域で放流を行っているとの情報が得られた。ヤマメ及びアユの放流区間を図10-4-1に示す。

なお、放流したヤマメについては、野鳥に捕食されたり、釣り客によって釣られたりするため、再生産するものは少ないが、生き残ったヤマメは人の立入が困難な淵などに生息していると思われるとの情報が得られた。

(4) 福岡県内水面漁業調整規則に基づく水産動植物採捕の許可状況

水産動植物採捕の許可による慣習的な採捕は行われていない。

図 10-4-1 ヤマメ及びアユの放流状況（岩岳川）

1 1 佐井川

11-1 水質

(1) BOD

BOD について過去 5 年間に行われた水質測定結果を表 11-1-1 に示す。

BOD (75%値) は、平成 24 及び 26 年度を除き各年度とも環境基準を達成している。

表 11-1-1 BOD の水質測定結果 (佐井川)

水域名 [類型]	調査地点	年度	BOD(mg/L)					
			最小	～	最大	75%値	測定回数	基準値
佐井川 [A]	佐井川橋	H24	1.1	～	3.4	2.6	12	2 以下
		H25	0.5	～	3.0	1.7	12	
		H26	0.5	～	4.2	2.4	12	
		H27	0.5	～	3.1	1.2	12	
		H28	<0.5	～	2.8	1.8	12	
		平均		—		1.9	—	

(2) 全亜鉛

全亜鉛について過去5年間に行われた水質測定結果を表 11-1-2 及び図 11-1-1 に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 11-1-2 全亜鉛の水質測定結果（佐井川）

調査地点	年度	全亜鉛(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
佐井川橋	H24	0.003	～	0.011	0.006	4
	H25	<0.001	～	0.007	0.003	4
	H26	<0.001	～	0.004	0.003	4
	H27	<0.001	～	0.004	0.003	4
	H28	<0.001	～	0.008	0.003	4
	平均		—			0.004

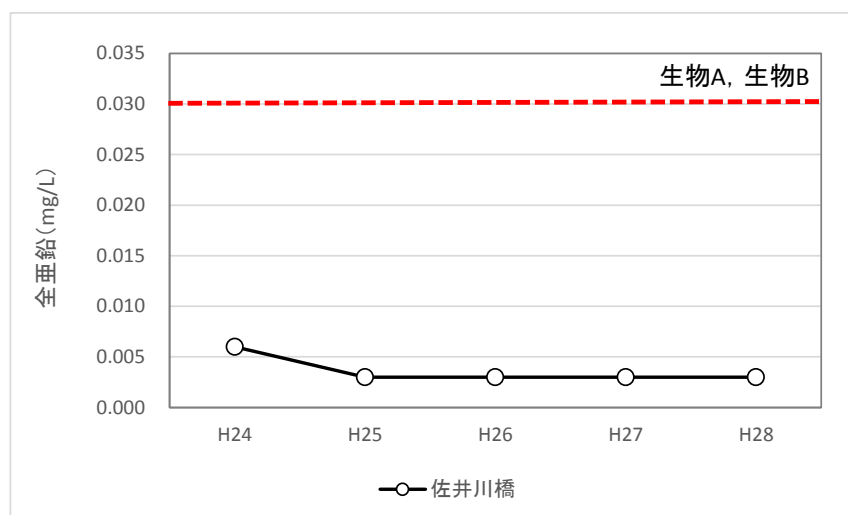


図 11-1-1 全亜鉛の水質測定結果（佐井川）

(3) ノニルフェノール

ノニルフェノールについて過去3年間に行われた水質測定結果を表 11-1-3 及び図 11-1-2 に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 11-1-3 ノニルフェノールの水質測定結果（佐井川）

調査地点	年度	ノニルフェノール(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
佐井川橋	H26	<0.00006	～	0.00008	0.00007	4
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	H28	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	平均		—		0.00006	—

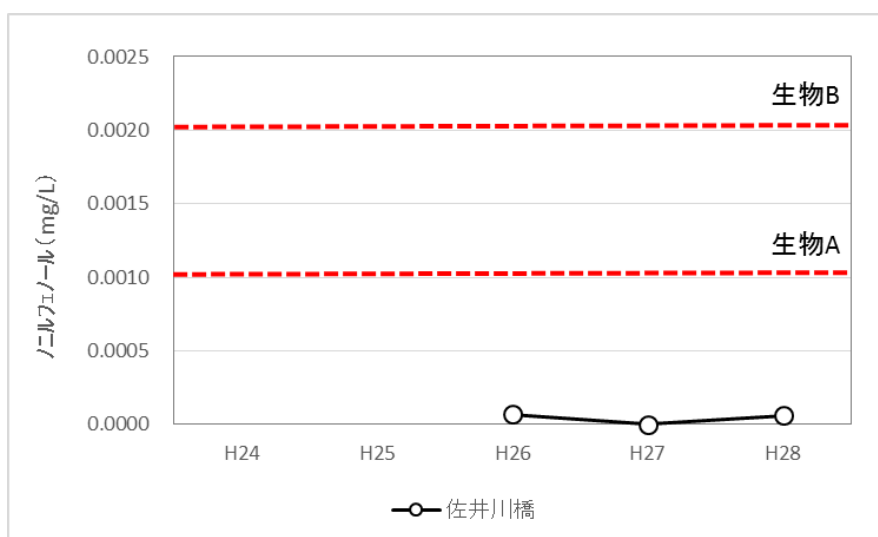


図 11-1-2 ノニルフェノールの水質測定結果（佐井川）

(4) LAS

LAS について過去3年間に行われた水質測定結果を表 11-1-4 及び図 11-1-3 に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 11-1-4 LAS の水質測定結果（佐井川）

調査地点	年度	LAS(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
佐井川橋	H26	0.0017	～	0.029	0.014	4
	H27	<0.0006	～	0.0039	0.0016	4
	H28	<0.0006	～	0.0012	0.0008	4
	平均	—			0.0055	—

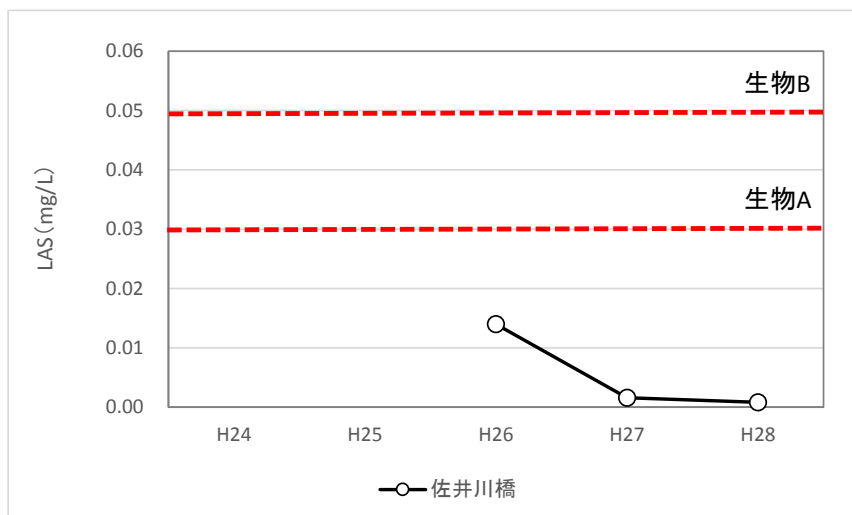


図 11-1-3 LAS の水質測定結果（佐井川）

11-2 水温

過去5年間に行われた水質測定における水温の測定結果を表11-2-1に示す。

表 11-2-1 水温測定結果（佐井川）

調査地点	年度	水温(°C)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
佐井川橋	H24	6.2	～	30.2	17.7	12
	H25	6.3	～	31.1	17.4	12
	H26	6.6	～	26.7	16.8	12
	H27	7.7	～	32.3	17.0	12
	H28	8.5	～	32.2	17.8	12
	平均		—		17.3	—

11-3 水生生物の生息状況

現地調査及び既存文献から情報収集を行った結果を図11-3-1に示す。

図11-3-1に示すとおり、冷水性魚介類の生息は確認されなかった。また、1k土屋橋上流付近から下流で温水性の魚介類の生息が確認された。

図 11-3-1 水生生物の生息状況（佐井川）

11-4 その他関連事項

(1) 漁業法に基づく内水面共同漁業権の設定状況

内共第8号共同漁業権が設定されており、岩岳川漁業協同組合が免許を取得している。

(2) 水産動物の放流状況

岩岳川漁業協同組合による放流が行われている。

(3) 漁業協同組合へのヒアリング結果

岩岳川漁業協同組合へのヒアリングで、轟フジ農村公園付近より上流域でヤマメの放流を行っているとの情報が得られた。ヤマメ及びアユの放流区間を図 11-4-1 に示す。

(4) 福岡県内水面漁業調整規則に基づく水産動植物採捕の許可状況

シラスウナギの採捕の許可を取得し、採捕を行っている者がいる。

図 11-4-1 ヤマメ及びアユの放流状況（佐井川）

1 2 友枝川

12-1 水質

(1) BOD

BOD について過去 5 年間に行われた水質測定結果を表 12-1-1 に示す。

BOD（75%値）は、各年度ともに環境基準を達成している。

表 12-1-1 BOD の水質測定結果（友枝川）

水域名 [類型]	調査地点	年度	BOD(mg/L)					
			最小	～	最大	75%値	測定回数	基準値
友枝川 [A]	貴船橋	H24	1.1	～	2.3	1.9	12	2 以下
		H25	0.6	～	2.6	1.3	12	
		H26	0.5	～	5.0	1.7	12	
		H27	<0.5	～	1.7	1.1	12	
		H28	0.8	～	1.5	1.2	12	
		平均		—		1.4	—	

(2) 全亜鉛

全亜鉛について過去5年間に行われた水質測定結果を表 12-1-2 及び図 12-1-1 に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 12-1-2 全亜鉛の水質測定結果（友枝川）

調査地点	年度	全亜鉛(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
貴船橋	H24	<0.001	～	0.001	0.001	4
	H25	<0.001	～	0.003	0.002	4
	H26	<0.001	～	0.004	0.002	4
	H27	<0.001	～	0.002	0.002	4
	H28	<0.001	～	0.002	0.001	4
	平均			—	0.002	—

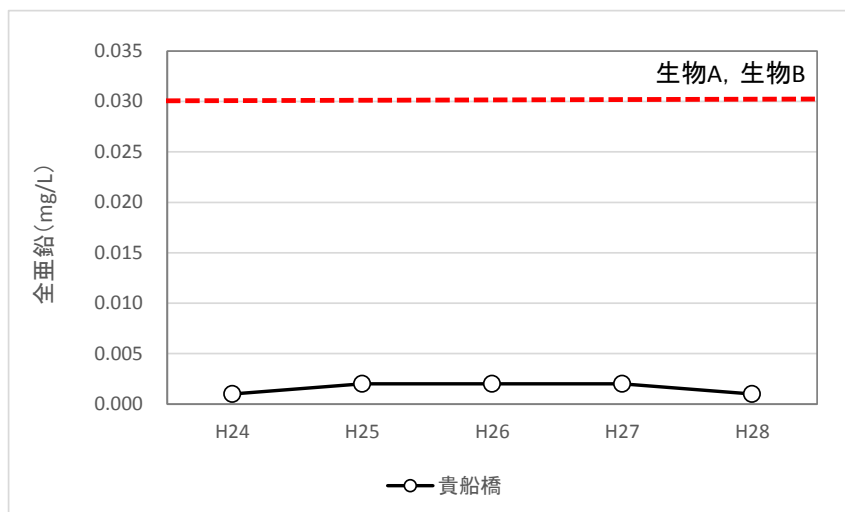


図 12-1-1 全亜鉛の水質測定結果（友枝川）

(3) ノニルフェノール

ノニルフェノールについて過去3年間に行われた水質測定結果を表12-1-3及び図12-1-2に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

表 12-1-3 ノニルフェノールの水質測定結果（友枝川）

調査地点	年度	ノニルフェノール(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
貴船橋	H26	<0.00006	～	0.00008	0.00007	4
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	H28	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	平均		—		0.00006	—

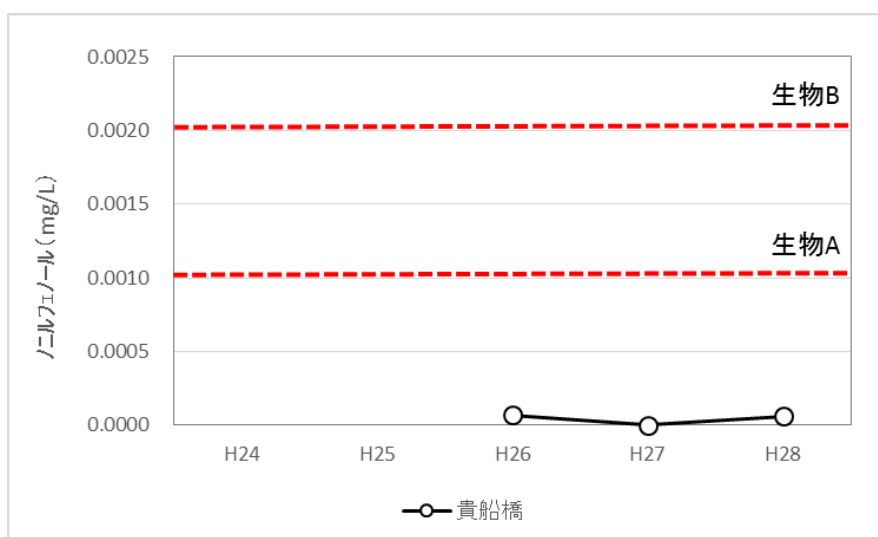


図 12-1-2 ノニルフェノールの水質測定結果（友枝川）

(4) LAS

LAS について過去 3 年間に行われた水質測定結果を表 12-1-4 及び図 12-1-3 に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 12-1-4 LAS の水質測定結果（友枝川）

調査地点	年度	LAS(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
貴船橋	H26	<0.0006	～	0.010	0.0041	4
	H27	<0.0006	～	0.0014	0.0009	4
	H28	<0.0006	～	0.0043	0.0018	4
	平均	—			0.0023	—

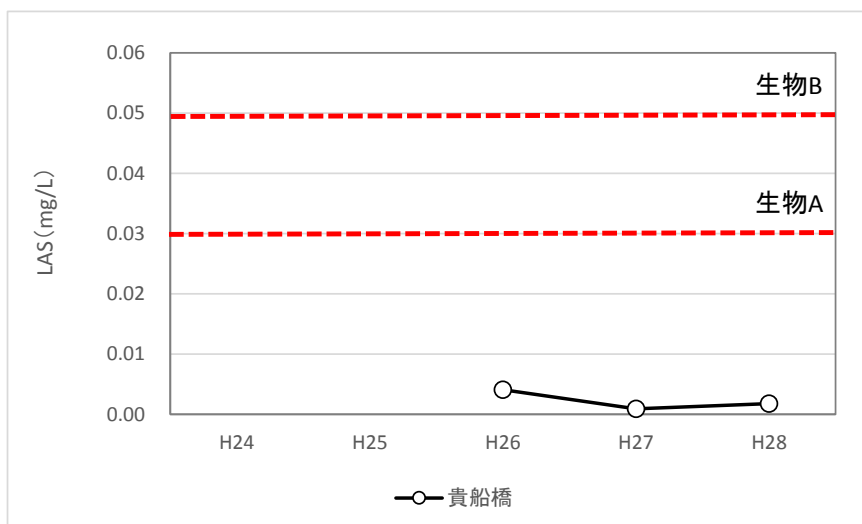


図 12-1-3 LAS の水質測定結果（友枝川）

12-2 水温

過去5年間に行われた水質測定における水温の測定結果を表12-2-1に示す。

表 12-2-1 水温測定結果（友枝川）

調査地点	年度	水温(°C)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
貴船橋	H24	6.4	～	28.6	17.0	12
	H25	7.2	～	27.5	16.4	12
	H26	6.3	～	24.1	16.1	12
	H27	8.0	～	29.0	17.2	12
	H28	8.8	～	28.5	17.3	12
	平均		—		16.8	—

12-3 水生生物の生息状況

現地調査を行った結果を図12-3-1に示す。

図12-3-1に示すとおり、冷水性魚介類の生息は確認されなかった。また、貴船橋で温水性の魚介類の生息が確認された。

図 12-3-1 水生生物の生息状況（友枝川）

12-4 その他関連事項

- (1) 漁業法に基づく内水面共同漁業権の設定状況
内水面共同漁業権の設定はない。

- (2) 福岡県内水面漁業調整規則に基づく水産動植物採捕の許可状況
水産動植物採捕の許可による慣習的な採捕は行われていない。

1 3 西川

13-1 水質

(1) BOD

BOD について過去 5 年間に行われた水質測定結果を表 13-1-1 に示す。

BOD（75%値）は、全ての年度で環境基準を達成している。

表 13-1-1 BOD の水質測定結果（西川）

水域名 [類型]	調査地点	年度	BOD(mg/L)					
			最小	～	最大	75%値	測定回数	基準値
西川 [B]	島津橋	H24	1.2	～	6.2	2.8	12	3 以下
		H25	1.1	～	3.7	2.8	12	
		H26	0.9	～	1.8	1.6	12	
		H27	0.9	～	16	2.2	12	
		H28	1.0	～	8.4	2.4	12	
		平均		—		2.4	—	

(2) 全亜鉛

全亜鉛について過去5年間に行われた水質測定結果を表 13-1-2 及び図 13-1-1 に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 13-1-2 全亜鉛の水質測定結果（西川）

調査地点	年度	全亜鉛(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
島津橋	H24	0.005	～	0.012	0.009	4
	H25	0.005	～	0.009	0.008	4
	H26	0.011	～	0.011	0.011	1
	H27	0.011	～	0.016	0.014	4
	H28	0.004	～	0.016	0.010	4
	平均	—			0.010	—

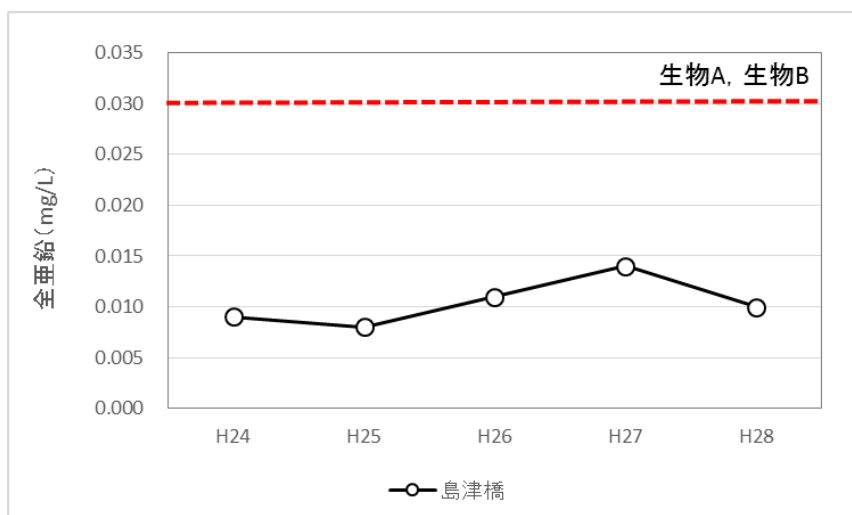


図 13-1-1 全亜鉛の水質測定結果（西川）

(3) ノニルフェノール

ノニルフェノールについて過去3年間に行われた水質測定結果を表13-1-3及び図13-1-2に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

表 13-1-3 ノニルフェノールの水質測定結果（西川）

調査地点	年度	ノニルフェノール(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
島津橋	H26	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	1
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	H28	0.00006	～	0.00007	0.00006	4
	平均	—			0.00006	—

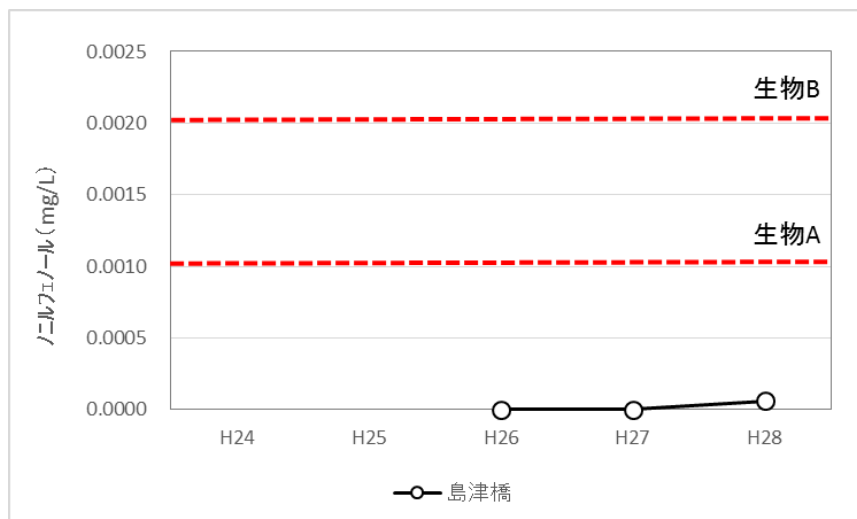


図 13-1-2 ノニルフェノールの水質測定結果（西川）

(4) LAS

LAS について過去 3 年間に行われた水質測定結果を表 13-1-4 及び図 13-1-3 に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 13-1-4 LAS の水質測定結果 (西川)

調査地点	年度	LAS(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
島津橋	H26	0.0024	～	0.0024	0.0024	1
	H27	<0.0006	～	<0.0006	<0.0006	4
	H28	<0.0006	～	0.0026	0.0012	4
	平均	—			0.0014	—

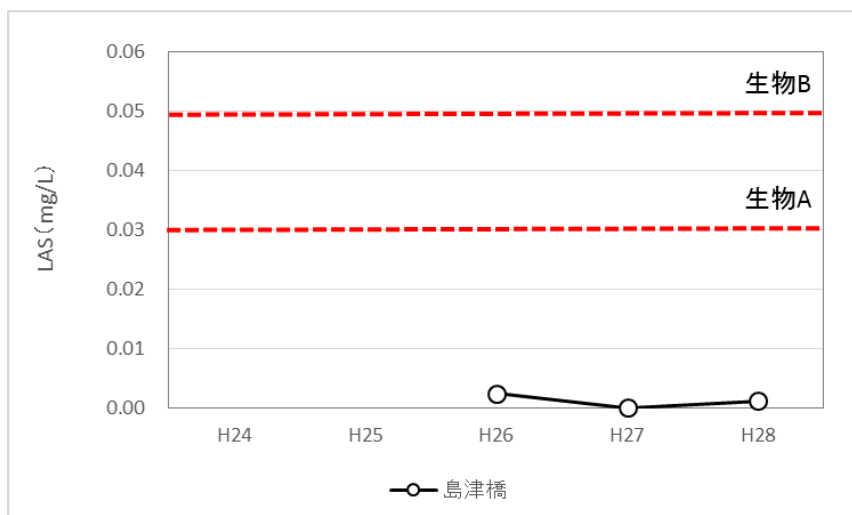


図 13-1-3 LAS の水質測定結果 (西川)

13-2 水温

過去5年間に行われた水質測定における水温の測定結果を表13-2-1に示す。

表 13-2-1 水温測定結果（西川）

調査地点	年度	水温(°C)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
島津橋	H24	6.9	～	31.0	18.6	12
	H25	6.4	～	34.1	18.7	12
	H26	4.1	～	31.5	16.9	12
	H27	9.2	～	31.8	19.0	12
	H28	6.2	～	31.3	20.2	12
	平均		—		18.7	—

13-3 水生生物の生息状況

現地調査及び既存文献から情報収集を行った結果を図13-3-1に示す。

図13-3-1に示すとおり、冷水性魚介類の生息は確認されなかった。また、全域において温水性の魚介類の生息が確認された。

図 13-3-1 水生生物の生息状況（西川）

13-4 その他関連事項

(1) 漁業法に基づく内水面共同漁業権の設定状況

内水面共同漁業権の設定はない。

(2) 福岡県内水面漁業調整規則に基づく水産動植物採捕の許可状況

シラスウナギの採捕の許可を取得し、採捕を行っている者がいる。

14 八木山川及びカ丸ダム

14-1 水質

(1) BOD（八木山川）

八木山川の BOD について過去 5 年間に行われた水質測定結果を表 14-1-1 に示す。

BOD（75%値）は、脇野橋では平成 25 年度を除く各年度で環境基準を達成しており、樋口橋では平成 28 年度を除く各年度で環境基準を達成している。

表 14-1-1 BOD の水質測定結果（八木山川）

水域名 [類型]	調査地点	年度	BOD(mg/L)					
			最小	～	最大	75%値	測定回数	基準値
八木山川 上流 [A]	脇野橋	H24	0.7	～	3.0	1.9	12	2 以下
		H25	<0.5	～	6.5	2.3	12	
		H26	<0.5	～	1.9	1.3	12	
		H27	0.5	～	2.6	1.3	12	
		H28	0.8	～	2.3	1.5	12	
		平均	—		1.7	—		
八木山川 下流 [B]	樋口橋	H24	0.9	～	3.8	2.8	12	3 以下
		H25	<0.5	～	7.7	2.2	12	
		H26	1.1	～	3.8	2.2	12	
		H27	0.7	～	4.9	2.7	12	
		H28	1.0	～	5.6	4.0	12	
		平均	—		2.8	—		

(2) COD (カ丸ダム)

カ丸ダムのCODについて過去5年間に行われた水質測定結果を表14-1-2に示す。
COD(75%値)は、平成25年度のみ環境基準を達成している。

表 14-1-2 CODの水質測定結果 (カ丸ダム)

湖沼名 [類型]	調査地点	年度	COD(mg/L)					
			最小	～	最大	75%値	測定回数	基準値
カ丸ダム [湖沼A]	ダムサイト	H24	1.4	～	19	4.5	36	3 以下
		H25	1.4	～	3.9	2.9	36	
		H26	1.5	～	5.4	3.4	36	
		H27	1.0	～	4.1	3.2	36	
		H28	1.6	～	11	3.5	36	
		平均	—			3.5	—	

(3) 全リン (カ丸ダム)

カ丸ダムの全リンについて過去5年間に行われた水質測定結果を表14-1-3に示す。
全リン(平均値)は、全ての年度で環境基準を超過している。

表 14-1-3 全リンの水質測定結果 (カ丸ダム)

湖沼名 [類型]	調査地点	年度	全リン(mg/L)					
			最小	～	最大	平均値	測定回数	基準値
カ丸ダム [湖沼Ⅱ]	ダムサイト	H24	0.009	～	0.049	0.020	12	0.01 以下
		H25	0.005	～	0.097	0.025	12	
		H26	<0.003	～	0.049	0.020	12	
		H27	0.010	～	0.024	0.017	12	
		H28	0.007	～	0.095	0.025	12	
		平均	—			0.021	—	

(4) 全亜鉛

八木山川及び力丸ダムの全亜鉛について過去5年間に行われた水質測定結果を表14-1-4、表14-1-5及び図14-1-1に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、全ての地点において生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

表 14-1-4 全亜鉛の水質測定結果（八木山川）

調査地点	年度	全亜鉛(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
脇野橋	H24	<0.001	～	0.007	0.003	4
	H25	<0.001	～	0.002	0.001	4
	H26	<0.001	～	0.002	0.001	4
	H27	<0.001	～	0.001	0.001	4
	H28	<0.001	～	0.004	0.002	4
	平均		—		0.002	—
樋口橋	H24	0.001	～	0.004	0.003	4
	H25	0.001	～	0.002	0.002	4
	H26	<0.001	～	0.005	0.003	4
	H27	0.001	～	0.003	0.002	4
	H28	<0.001	～	0.004	0.003	4
	平均		—		0.003	—

表 14-1-5 全亜鉛の水質測定結果（力丸ダム）

調査地点	年度	全亜鉛(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
ダムサイト	H24	<0.001	～	0.007	0.003	12
	H25	<0.001	～	0.016	0.005	12
	H26	<0.001	～	0.020	0.008	12
	H27	<0.001	～	0.011	0.005	12
	H28	<0.001	～	0.010	0.003	12
	平均		—		0.005	—

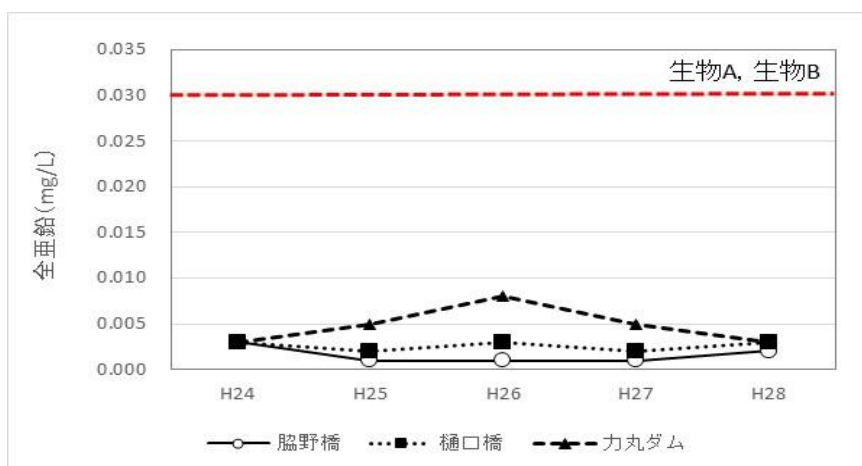


図 14-1-1 全亜鉛の水質測定結果（八木山川及び力丸ダム）

(5) ノニルフェノール

八木山川及び力丸ダムのノニルフェノールについて過去4年間に行われた水質測定結果を表14-1-6、表14-1-7及び図14-1-2に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、全ての地点において生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

表 14-1-6 ノニルフェノールの水質測定結果（八木山川）

調査地点	年度	ノニルフェノール(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
脇野橋	H25	0.00010	～	0.00010	0.00010	1
	H26	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	H28	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	平均		—		0.00007	—
樋口橋	H25	0.00016		0.00016	0.00016	1
	H26	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	H28	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	平均		—		0.00009	—

表 14-1-7 ノニルフェノールの水質測定結果（力丸ダム）

調査地点	年度	ノニルフェノール(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
ダムサイト	H25	0.00006	～	0.00006	0.00006	3
	H26	<0.00006	～	0.00006	0.00006	12
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	12
	H28	<0.00006	～	0.00006	0.00006	12
	平均		—		0.00006	—

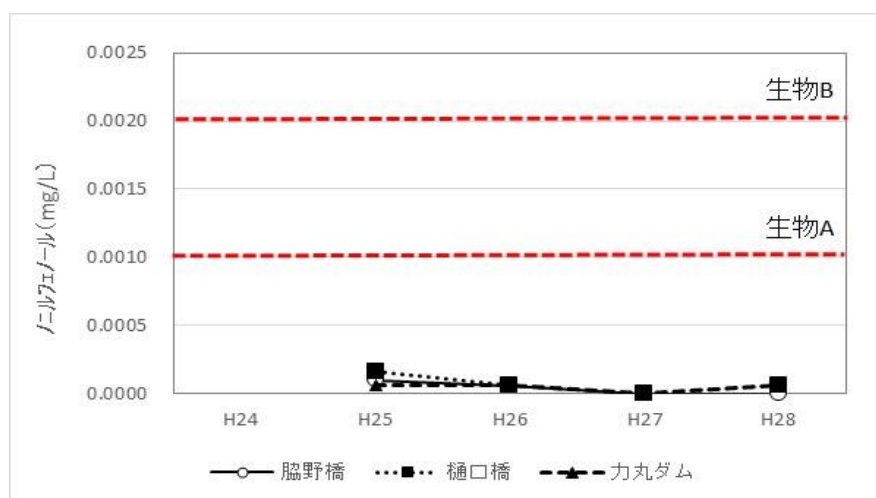


図 14-1-2 ノニルフェノールの水質測定結果（八木山川及び力丸ダム）

(6) LAS

八木山川及び力丸ダムのLASについて過去3年間に行われた水質測定結果を表14-1-8、表14-1-9及び図14-1-3に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、全ての地点において生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

表 14-1-8 LAS の水質測定結果（八木山川）

調査地点	年度	LAS(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
脇野橋	H26	<0.0006	～	0.0061	0.0023	4
	H27	<0.0006	～	0.0012	0.0008	4
	H28	<0.0006	～	0.0010	0.0007	4
	平均	—			0.0013	—
樋口橋	H26	0.0068	～	0.040	0.020	4
	H27	0.0019	～	0.0033	0.0026	4
	H28	<0.0006	～	0.084	0.028	4
	平均	—			0.017	—

表 14-1-9 LAS の水質測定結果（力丸ダム）

調査地点	年度	LAS(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
ダムサイト	H26	<0.0006	～	0.014	0.0043	12
	H27	<0.0006	～	0.0012	0.0008	12
	H28	<0.0006	～	0.0019	0.0007	12
	平均	—			0.0019	—

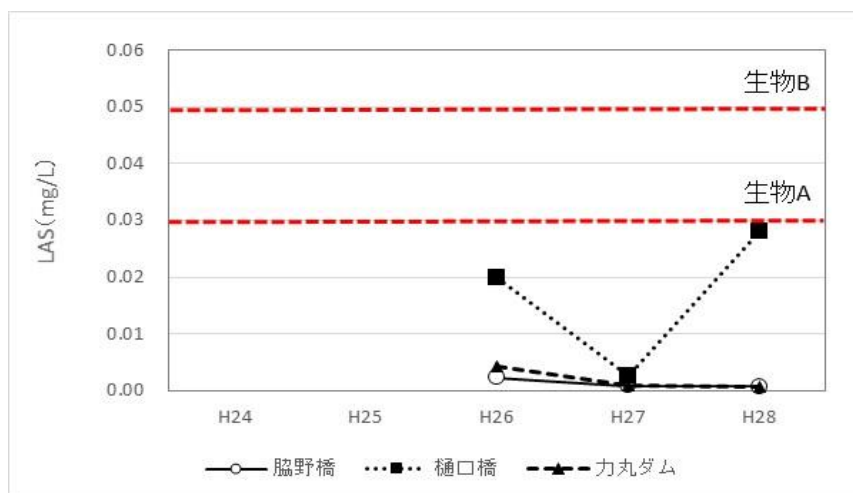


図 14-1-3 LAS の水質測定結果（八木山川及び力丸ダム）

14-2 水温

八木山川及び力丸ダムにおいて過去5年間に行われた水質測定における水温の測定結果を表 14-2-1 及び表 14-2-2 に示す。

表 14-2-1 水温測定結果（八木山川）

調査地点	年度	水温(°C)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
脇野橋	H24	5.9	～	27.3	18.0	12
	H25	7.2	～	28.2	16.6	12
	H26	7.3	～	25.3	16.2	12
	H27	7.4	～	27.2	16.3	12
	H28	7.0	～	27.5	17.6	12
	平均			—	16.9	—
樋口橋	H24	7.9	～	27.6	18.4	12
	H25	8.2	～	27.4	17.4	12
	H26	7.6	～	25.1	16.8	12
	H27	9.5	～	26.6	17.1	12
	H28	9.0	～	27.1	18.4	12
	平均			—	17.6	—

表 14-2-1 水温測定結果（力丸ダム）

調査地点	年度	水温(°C)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
ダムサイト (表層)	H24	7.4	～	29.8	18.4	12
	H25	7.6	～	31.3	18.5	12
	H26	8.0	～	26.3	17.5	12
	H27	9.7	～	30.9	18.5	12
	H28	9.3	～	31.4	20.7	12
	平均			—	18.7	—
ダムサイト (中層)	H24	7.2	～	22.0	14.3	12
	H25	7.1	～	22.3	14.7	12
	H26	7.9	～	21.3	14.6	12
	H27	8.5	～	21.9	15.5	12
	H28	8.4	～	22.4	16.9	12
	平均			—	15.2	—
ダムサイト (底層)	H24	7.0	～	20.3	12.5	12
	H25	7.0	～	20.0	12.9	12
	H26	7.4	～	21.0	13.2	12
	H27	8.4	～	19.7	14.0	12
	H28	8.3	～	21.1	15.6	12
	平均			—	13.6	—

14-3 水生生物の生息状況

現地調査及び既存文献から情報収集を行った結果を図 14-3-1 に示す。

図 14-3-1 に示すとおり、冷水性魚介類の生息は確認されなかった。また、全域において温水性の魚介類の生息が確認された。

希少種・重要種等の情報を含むため委員限り

図 14-3-1 水生生物の生息状況（八木山川及びカ丸ダム）

14-4 その他関連事項

(1) 漁業法に基づく内水面共同漁業権の設定状況

内共第5号共同漁業権が設定されており、八木山川漁業協同組合が免許を取得している。

(2) 水産動物の放流状況

八木山川漁業協同組合による放流が行われている。

(3) 福岡県内水面漁業調整規則に基づく水産動植物採捕の許可状況

水産動植物採捕の許可による慣習的な採捕は行われていない。

15 犬鳴川

15-1 水質

(1) BOD

BODについて過去5年間に行われた水質測定結果を表15-1-1に示す。

なお、春日橋は補助点として水質測定が実施されている地点である。また、司書橋は、当該地点付近から上流において冷水性の魚介類の生息が確認されたことから、平成28年度に補足調査を実施した地点である。

BOD（75%値）は、各年度ともに全ての地点において環境基準を達成している。

表 15-1-1 BODの水質測定結果（犬鳴川）

水域名 [類型]	調査地点	年度	BOD(mg/L)					
			最小	～	最大	75%値	測定回数	基準値
犬鳴川 [B]	粥田橋	H24	0.5	～	2.7	1.7	12	3 以下
		H25	0.6	～	2.1	1.6	12	
		H26	0.6	～	2.1	1.2	12	
		H27	0.6	～	1.5	1.3	12	
		H28	0.7	～	1.2	1.0	12	
		平均	—			1.4	—	
犬鳴川 [B]	春日橋	H24	0.5	～	2.5	1.5	12	3 以下
		H25	0.6	～	1.9	1.4	12	
		H26	0.6	～	1.9	1.0	12	
		H27	<0.5	～	1.8	1.4	12	
		H28	0.6	～	1.5	1.1	12	
		平均	—			1.3	—	
犬鳴川 [B]	司書橋	H28	<0.5	～	1.9	0.9	4	3 以下

(2) 全亜鉛

全亜鉛について過去5年間に行われた水質測定結果を表15-1-2及び図15-1-1に示す。

なお、春日橋は補助点として水質測定が実施されている地点である。また、司書橋は、当該地点付近から上流において冷水性の魚介類の生息が確認されたことから、平成28年度に補足調査を実施した地点である。

参考までに環境基準値と比較したところ、全ての地点において生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

表 15-1-2 全亜鉛の水質測定結果（犬鳴川）

調査地点	年度	全亜鉛(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
粥田橋	H24	0.004	～	0.010	0.007	4
	H25	0.003	～	0.010	0.007	4
	H26	0.009	～	0.009	0.009	1
	H27	0.009	～	0.016	0.011	4
	H28	0.003	～	0.011	0.007	4
	平均			—	0.008	—
春日橋	H28	0.003	～	0.006	0.005	4
司書橋	H28	<0.001	～	0.002	0.001	4

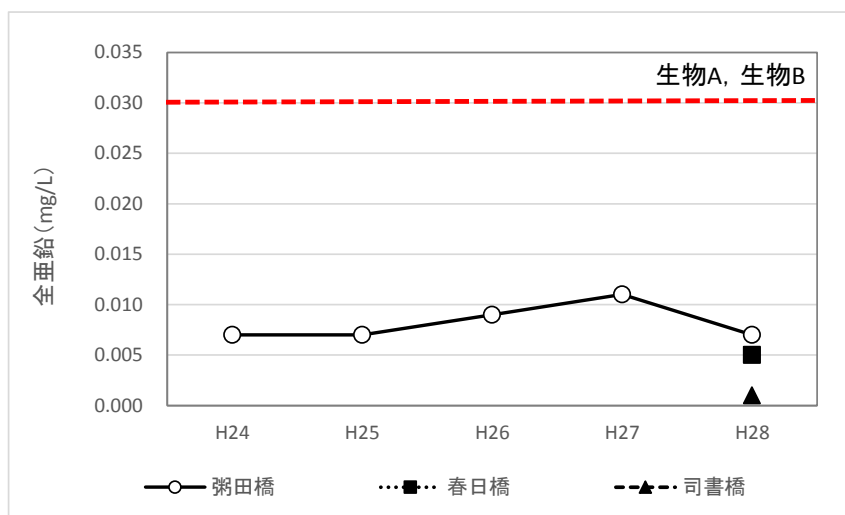


図 15-1-1 全亜鉛の水質測定結果（犬鳴川）

(3) ノニルフェノール

ノニルフェノールについて過去3年間に行われた水質測定結果を表15-1-3及び図15-1-2に示す。

なお、春日橋は補助点として水質測定が実施されている地点である。また、司書橋は、当該地点付近から上流において冷水性の魚介類の生息が確認されたことから、平成28年度に補足調査を実施した地点である。

参考までに環境基準値と比較したところ、全ての地点において生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

表 15-1-3 ノニルフェノールの水質測定結果（犬鳴川）

調査地点	年度	ノニルフェノール(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
粥田橋	H26	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	1
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	H28	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	平均		—		0.00006	—
春日橋	H28	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
司書橋	H28	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4

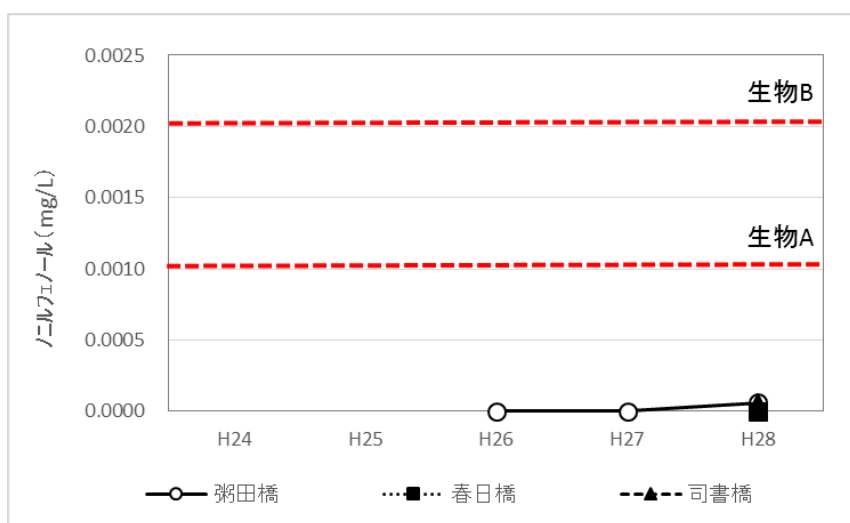


図 15-1-2 ノニルフェノールの水質測定結果（犬鳴川）

(4) LAS

LASについて過去3年間に行われた水質測定結果を表15-1-4及び図15-1-3に示す。

なお、春日橋は補助点として水質測定が実施されている地点である。また、司書橋は、当該地点付近から上流において冷水性の魚介類の生息が確認されたことから、平成28年度に補足調査を実施した地点である。

参考までに環境基準値と比較したところ、全ての地点において生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

表 15-1-4 LAS の水質測定結果（犬鳴川）

調査地点	年度	LAS(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
粥田橋	H26	0.0012	～	0.0012	0.0012	1
	H27	<0.0006	～	0.0009	0.0007	4
	H28	<0.0006	～	0.0017	0.0011	4
	平均	—			0.0010	—
春日橋	H28	0.0022	～	0.0070	0.0037	4
司書橋	H28	<0.0006	～	0.0013	0.0008	4

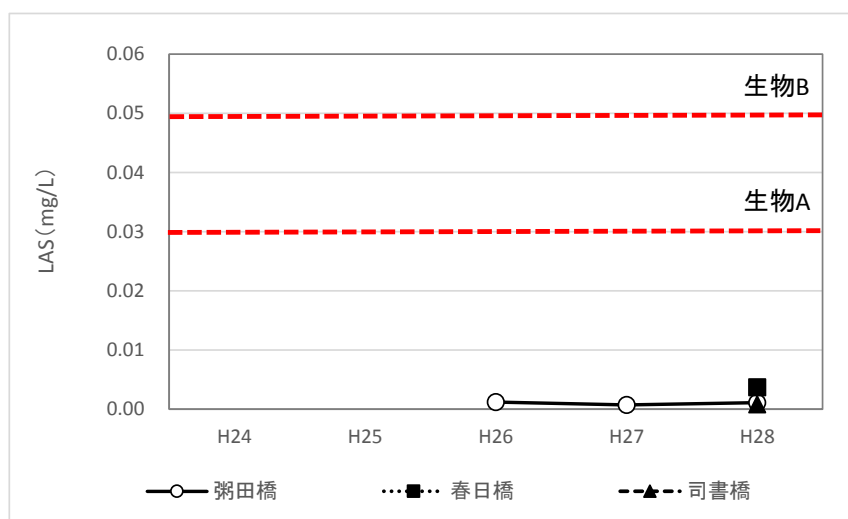


図 15-1-3 LAS の水質測定結果（犬鳴川）

15-2 水温

過去5年間に行われた水質測定における水温の測定結果を表15-2-1に示す。

なお、春日橋は補助点として水質測定が実施されている地点である。また、司書橋は、当該地点付近から上流において冷水性の魚介類の生息が確認されたことから、平成28年度に補足調査を実施した地点である。

表 15-2-1 水温測定結果（犬鳴川）

調査地点	年度	水温(°C)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
粥田橋	H24	7.5	～	30.0	18.6	12
	H25	6.5	～	32.9	18.8	12
	H26	4.5	～	27.8	16.7	12
	H27	9.6	～	29.5	18.9	12
	H28	7.3	～	29.0	19.1	12
	平均		—		18.4	—
春日橋	H28	7.7	～	26.9	18.7	12
司書橋	H28	8.0	～	19.3	14.0	12

15-3 水生生物の生息状況

現地調査及び既存文献から情報収集を行った結果を図15-3-1に示す。

図15-3-1に示すとおり、犬鳴ダム上流において冷水性の魚介類であるカジカ、ヤマメの生息が確認された。また、古川橋より下流で温水性の魚介類の生息が確認された。

図 15-3-1 水生生物の生息状況（犬鳴川）

15-4 その他関連事項

- (1) 漁業法に基づく内水面共同漁業権の設定状況
内水面共同漁業権の設定はない。

- (2) 福岡県内水面漁業調整規則に基づく水産動植物採捕の許可状況
水産動植物採捕の許可による慣習的な採捕は行われていない。

16 穂波川

16-1 水質

(1) BOD

BOD について過去 5 年間に行われた水質測定結果を表 16-1-1 に示す。

BOD (75%値) は、天道橋において平成 27 及び 28 年度のみ環境基準を達成している。また、東町橋では各年度ともに環境基準を達成している。

表 16-1-1 BOD の水質測定結果 (穂波川)

水域名 [類型]	調査地点	年度	BOD(mg/L)					基準値
			最小	～	最大	75%値	測定回数	
穂波川上流 [A]	天道橋	H24	0.6	～	4.0	2.5	12	2 以下
		H25	<0.5	～	6.3	3.3	12	
		H26	0.6	～	3.6	2.5	12	
		H27	0.7	～	2.8	1.5	12	
		H28	0.8	～	2.6	1.5	12	
		平均	—		2.3	—		
穂波川下流 [B]	東町橋	H24	0.5	～	2.5	1.3	12	3 以下
		H25	0.9	～	2.4	1.5	12	
		H26	0.6	～	2.1	1.4	12	
		H27	0.6	～	1.8	1.2	12	
		H28	0.6	～	1.9	1.2	12	
		平均	—		1.3	—		

(2) 全亜鉛

全亜鉛について過去5年間に行われた水質測定結果を表 16-1-2 及び図 16-1-1 に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、全ての地点において生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 16-1-2 全亜鉛の水質測定結果（穂波川）

調査地点	年度	全亜鉛(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
天道橋	H24	0.001	～	0.006	0.004	4
	H25	0.001	～	0.004	0.002	4
	H26	0.001	～	0.005	0.004	4
	H27	0.001	～	0.006	0.004	4
	H28	0.001	～	0.004	0.002	4
	平均			—		0.003
東町橋	H24	<0.001	～	0.002	0.002	4
	H25	0.002	～	0.006	0.004	4
	H26	0.008	～	0.008	0.008	1
	H27	0.003	～	0.003	0.003	1
	H28	<0.001	～	0.003	0.002	4
	平均			—		0.004

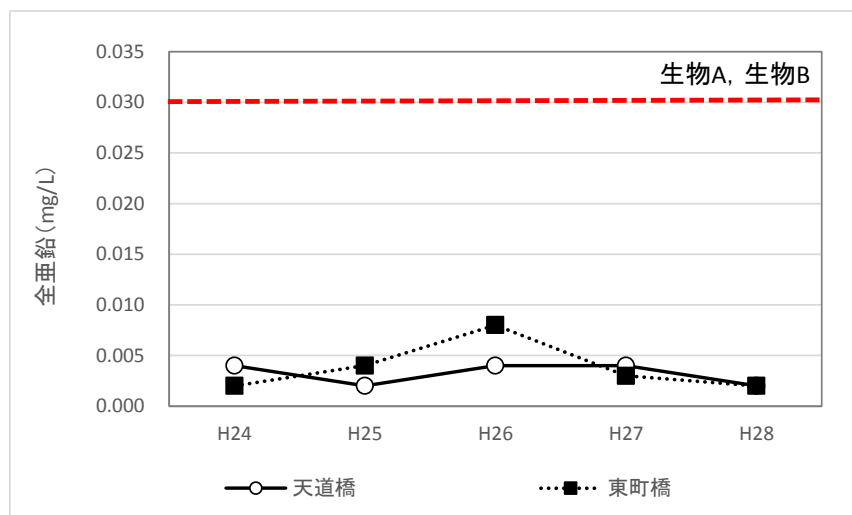


図 16-1-1 全亜鉛の水質測定結果（穂波川）

(3) ノニルフェノール

ノニルフェノールについて過去4年間に行われた水質測定結果を表16-1-3及び図16-1-2に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、全ての地点において生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

表 16-1-3 ノニルフェノールの水質測定結果（穂波川）

調査地点	年度	ノニルフェノール(mg/L)				測定回数
		最小	～	最大	平均値	
天道橋	H25	0.00008		0.00008	0.00008	1
	H26	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	H28	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	平均		—		0.00007	—
東町橋	H26	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	1
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	1
	H28	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	平均		—		0.00006	—

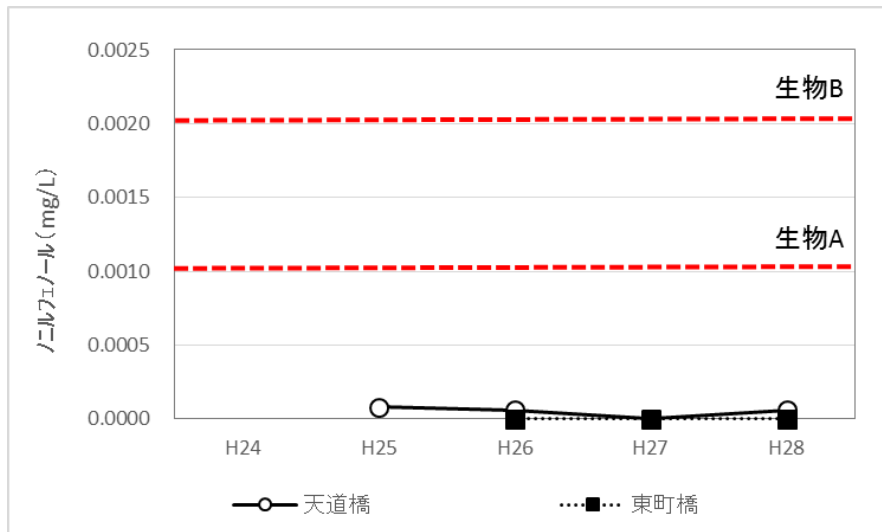


図 16-1-2 ノニルフェノールの水質測定結果（穂波川）

(4) LAS

LAS について過去 3 年間に行われた水質測定結果を表 16-1-4 及び図 16-1-3 に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、全ての地点において生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 16-1-4 LAS の水質測定結果（穂波川）

調査地点	年度	LAS(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
天道橋	H26	0.0029	～	0.054	0.027	4
	H27	0.0019	～	0.0085	0.0053	4
	H28	<0.0006	～	0.0059	0.0031	4
	平均	—			0.012	—
東町橋	H26	0.0050	～	0.0050	0.0050	1
	H27	<0.0006	～	<0.0006	<0.0006	1
	H28	<0.0006	～	0.0043	0.0028	4
	平均	—			0.0028	—

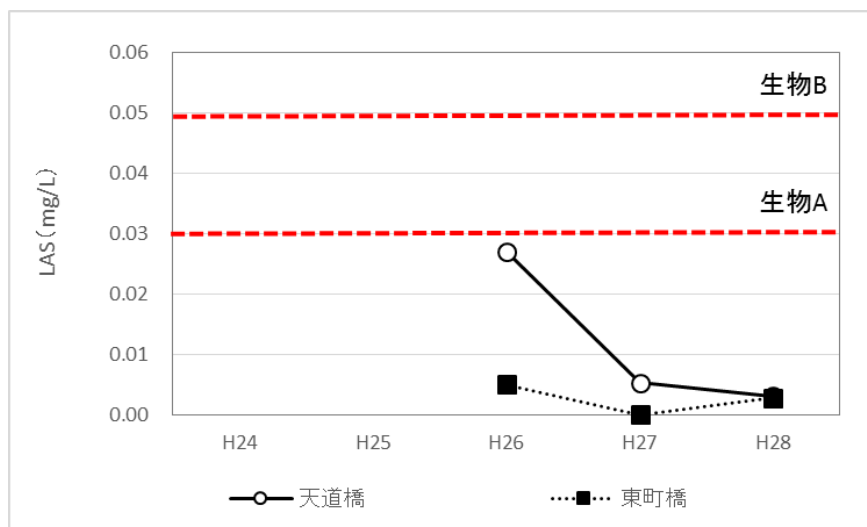


図 16-1-3 LAS の水質測定結果（穂波川）

16-2 水温

過去5年間に行われた水質測定における水温の測定結果を表16-2-1に示す。

表 16-2-1 水温測定結果（穂波川）

調査地点	年度	水温(°C)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
天道橋	H24	6.5	～	25.5	17.0	12
	H25	7.1	～	27.1	16.6	12
	H26	6.5	～	25.4	16.1	12
	H27	7.4	～	26.7	15.7	12
	H28	7.0	～	25.6	17.0	12
	平均		—		16.5	—
東町橋	H24	5.6	～	26.6	16.5	12
	H25	6.4	～	32.8	18.8	12
	H26	4.1	～	27.9	16.9	12
	H27	10.0	～	27.7	18.6	12
	H28	8.1	～	28.1	18.6	12
	平均		—		17.9	—

16-3 水生生物の生息状況

現地調査及び既存文献から情報収集を行った結果を図16-3-1に示す。

図16-3-1に示すとおり、冷水性魚介類の生息は確認されなかった。また、豆田橋から下流で温水性の魚介類の生息が確認された。

希少種・重要種等の情報を含むため委員限り

図 16-3-1 水生生物の生息状況（穂波川）

16-4 その他関連事項

- (1) 漁業法に基づく内水面共同漁業権の設定状況
内水面共同漁業権の設定はない。

- (2) 福岡県内水面漁業調整規則に基づく水産動植物採捕の許可状況
水産動植物採捕の許可による慣習的な採捕は行われていない。

17 山田川

17-1 水質

(1) BOD

BOD について過去 5 年間に行われた水質測定結果を表 17-1-1 に示す。

BOD（75%値）は、平成 25 年度を除き各年度ともに環境基準を達成している。

表 17-1-1 BOD の水質測定結果（山田川）

水域名 [類型]	調査地点	年度	BOD(mg/L)					
			最小	～	最大	75%値	測定回数	基準値
山田川 [B]	大倉橋	H24	0.6	～	9.5	2.4	12	3 以下
		H25	1.1	～	4.4	4.2	12	
		H26	1.3	～	3.3	2.2	12	
		H27	0.5	～	3.6	1.9	12	
		H28	1.1	～	3.0	1.9	12	
		平均		—		2.5	—	

(2) 全亜鉛

全亜鉛について過去5年間に行われた水質測定結果を表 17-1-2 及び図 17-1-1 に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 17-1-2 全亜鉛の水質測定結果 (山田川)

調査地点	年度	全亜鉛(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
大倉橋	H24	0.003	～	0.018	0.009	4
	H25	0.002	～	0.023	0.008	4
	H26	<0.001	～	0.006	0.003	4
	H27	0.001	～	0.006	0.003	4
	H28	0.001	～	0.003	0.002	4
	平均			—		0.005

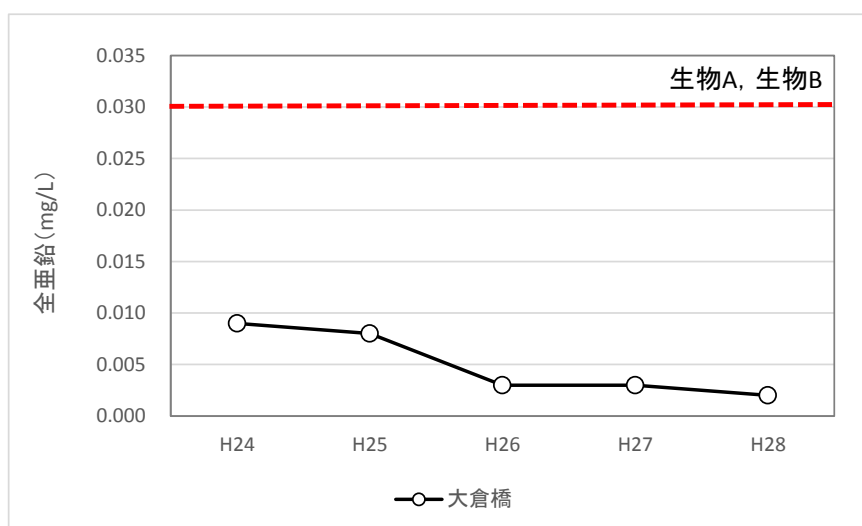


図 17-1-1 全亜鉛の水質測定結果 (山田川)

(3) ノニルフェノール

ノニルフェノールについて過去3年間に行われた水質測定結果を表 17-1-3 及び図 17-1-2 に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 17-1-3 ノニルフェノールの水質測定結果（山田川）

調査地点	年度	ノニルフェノール(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
大倉橋	H25	0.00006	～	0.00006	0.00006	1
	H26	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	H28	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	平均		—		0.00006	—

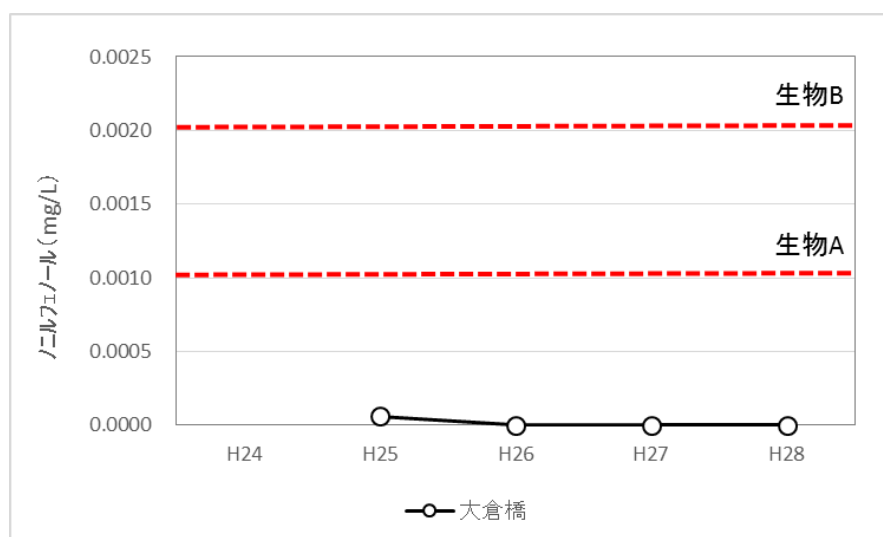


図 17-1-2 ノニルフェノールの水質測定結果（山田川）

(4) LAS

LAS について過去 3 年間に行われた水質測定結果を表 17-1-4 及び図 17-1-3 に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 17-1-4 LAS の水質測定結果 (山田川)

調査地点	年度	LAS(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
大倉橋	H26	0.0007	～	0.034	0.015	4
	H27	0.0054	～	0.0078	0.0069	4
	H28	<0.0006	～	0.0041	0.0024	4
	平均	—			0.0081	—

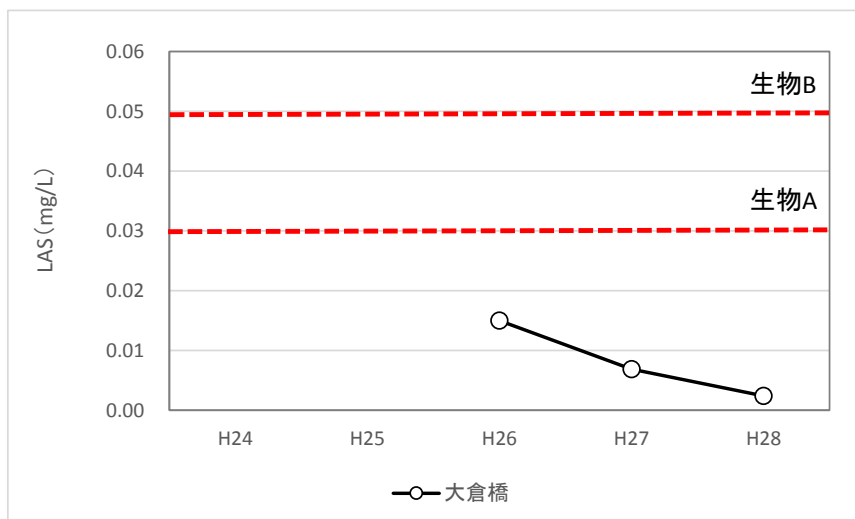


図 17-1-3 LAS の水質測定結果 (山田川)

17-2 水温

過去5年間に行われた水質測定における水温の測定結果を表17-2-1に示す。

表 17-2-1 水温測定結果（山田川）

調査地点	年度	水温(°C)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
大倉橋	H24	7.6	～	27.3	18.1	12
	H25	7.2	～	28.2	18.0	12
	H26	8.2	～	25.9	17.3	12
	H27	8.9	～	28.5	16.9	12
	H28	9.2	～	27.9	18.5	12
	平均		—		17.8	—

17-3 水生生物の生息状況

現地調査及び既存文献から情報収集を行った結果を図17-3-1に示す。

図17-3-1に示すとおり、指標種の生息は確認されなかった。

図 17-3-1 水生生物の生息状況（山田川）

17-4 その他関連事項

- (1) 漁業法に基づく内水面共同漁業権の設定状況
内水面共同漁業権の設定はない。

- (2) 福岡県内水面漁業調整規則に基づく水産動植物採捕の許可状況
水産動植物採捕の許可による慣習的な採捕は行われていない。

18 遠賀川

18-1 水質

(1) BOD

BODについて過去5年間に行われた水質測定結果を表18-1-1に示す。

なお、千束野橋は、当該地点付近から上流において冷水性の魚介類の生息が確認されたことから、平成28年度に補足調査を実施した地点である。

BOD(75%値)は、新宮ノ前橋を除き各年度ともに全ての地点において環境基準を達成している。また、新宮ノ前橋では平成27及び28年度のみ環境基準を達成している。

表 18-1-1 BODの水質測定結果（遠賀川）

水域名 [類型]	調査地点	年度	BOD(mg/L)					
			最小	～	最大	75%値	測定回数	基準値
遠賀川上流 [A]	新宮ノ前橋	H24	1.2	～	9.0	2.4	12	2 以下
		H25	1.0	～	8.2	4.5	12	
		H26	0.9	～	5.7	2.1	12	
		H27	0.6	～	13	1.8	12	
		H28	0.8		3.9	1.7	12	
		平均		—		2.5	—	
遠賀川中流 [B]	川島	H24	0.6	～	3.9	1.2	12	3 以下
		H25	0.7	～	2.3	1.6	12	
		H26	0.6	～	2.4	1.3	12	
		H27	0.8	～	1.5	1.2	12	
		H28	0.7	～	1.7	1.3	12	
		平均		—		1.3	—	
遠賀川下流 [B]	日の出橋	H24	1.0	～	5.7	1.4	12	3 以下
		H25	0.8	～	3.5	2.2	12	
		H26	0.6	～	2.4	1.1	12	
		H27	0.5	～	10	1.3	12	
		H28	0.6	～	1.3	1.2	12	
		平均		—		1.4	—	
遠賀川上流 [AA]	千束野橋	H28	<0.5	～	1.8	1.1	4	2 以下

(2) 全亜鉛

全亜鉛について過去5年間に行われた水質測定結果を表 18-1-2 及び図 18-1-1 に示す。

なお、千束野橋は、当該地点付近から上流において冷水性の魚介類の生息が確認されたことから、平成 28 年度に補足調査を実施した地点である。

参考までに環境基準値と比較したところ、全ての地点において生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 18-1-2 全亜鉛の水質測定結果（遠賀川）

調査地点	年度	全亜鉛(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
新宮ノ前橋	H24	<0.001	～	0.004	0.002	4
	H25	0.001	～	0.003	0.002	4
	H26	<0.001	～	0.005	0.003	4
	H27	0.001	～	0.003	0.002	4
	H28	<0.001	～	0.004	0.002	4
	平均		—		0.002	—
川島	H24	0.002	～	0.003	0.003	4
	H25	0.001	～	0.005	0.004	4
	H26	0.012	～	0.012	0.012	1
	H27	0.003	～	0.003	0.003	1
	H28	<0.001	～	0.006	0.002	4
	平均		—		0.005	—
日の出橋	H24	0.003	～	0.005	0.004	2
	H25	0.003	～	0.003	0.003	2
	H26	0.005	～	0.014	0.010	2
	H27	0.003	～	0.010	0.007	3
	H28	0.004	～	0.011	0.007	4
	平均		—		0.006	—
千束野橋	H28	<0.001	～	0.003	0.002	4

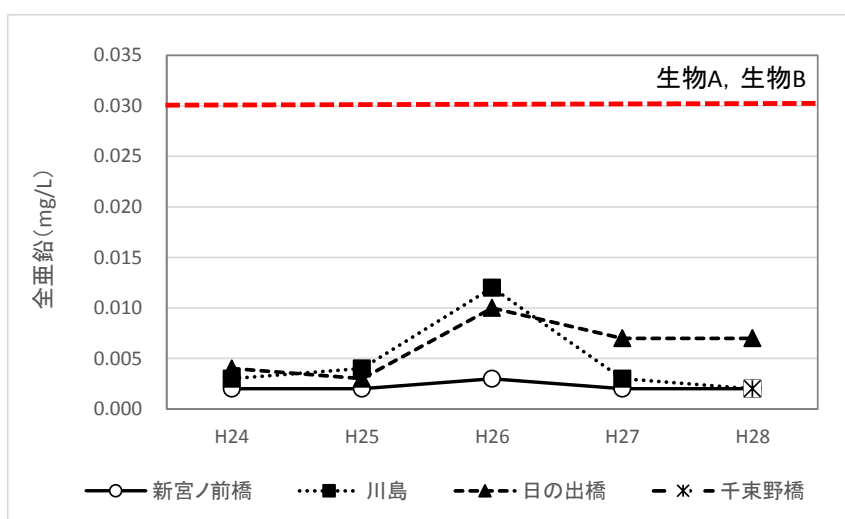


図 18-1-1 全亜鉛の水質測定結果（遠賀川）

(3) ノニルフェノール

ノニルフェノールについて過去4年間に行われた水質測定結果を表18-1-3及び図18-1-2に示す。

なお、千束野橋は、当該地点付近から上流において冷水性の魚介類の生息が確認されたことから、平成28年度に補足調査を実施した地点である。

参考までに環境基準値と比較したところ、全ての地点において生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

表 18-1-3 ノニルフェノールの水質測定結果（遠賀川）

調査地点	年度	ノニルフェノール(mg/L)				測定回数
		最小	～	最大	平均値	
新宮ノ前橋	H25	0.00007		0.00007	0.00007	1
	H26	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	H27	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	H28	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	平均		—		0.00006	—
川島	H26	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	1
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	1
	H28	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	平均		—		<0.00006	—
日の出橋	H25	<0.00006		<0.00006	<0.00006	2
	H26	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	1
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	H28	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	平均		—		<0.00006	—
千束野橋	H28	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4

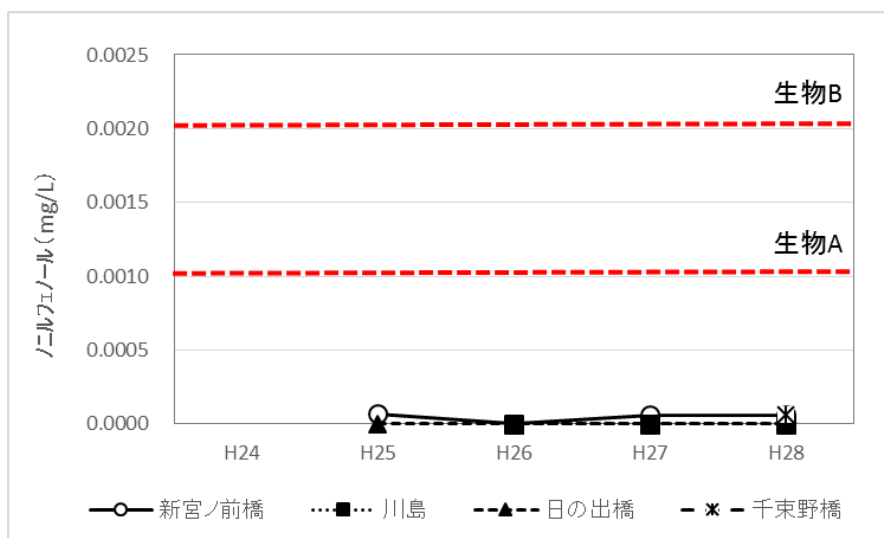


図 18-1-2 ノニルフェノールの水質測定結果（遠賀川）

(4) LAS

LAS について過去 3 年間に行われた水質測定結果を表 18-1-4 及び図 18-1-3 に示す。

なお、千束野橋は、当該地点付近から上流において冷水性の魚介類の生息が確認されたことから、平成 28 年度に補足調査を実施した地点である。

参考までに環境基準値と比較したところ、全ての地点において生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 18-1-4 LAS の水質測定結果（遠賀川）

調査地点	年度	LAS(mg/L)				測定回数
		最小	～	最大	平均値	
新宮ノ前橋	H26	0.0019	～	0.035	0.015	4
	H27	0.0025	～	0.0058	0.0039	4
	H28	<0.0006	～	0.0075	0.0038	4
	平均		—		0.0076	—
川島	H26	0.016	～	0.016	0.016	1
	H27	<0.0006	～	<0.0006	<0.0006	1
	H28	0.0007	～	0.0050	0.0028	4
	平均		—		0.0065	—
日の出橋	H26	0.0052	～	0.0052	0.0052	1
	H27	<0.0006	～	<0.0006	<0.0006	4
	H28	<0.0006	～	0.0010	0.0008	4
	平均		—		0.0022	—
千束野橋	H28	<0.0006	～	0.0006	0.0006	4

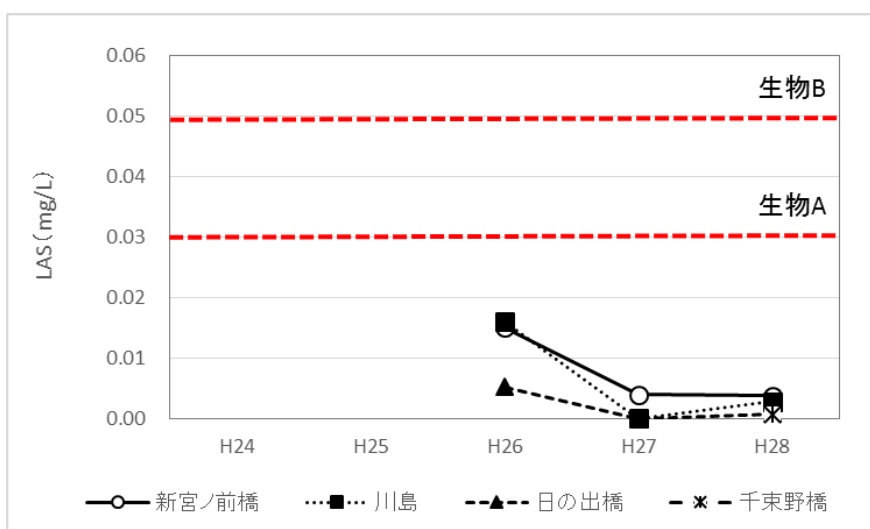


図 18-1-3 LAS の水質測定結果（遠賀川）

18-2 水温

過去5年間に行われた水質測定における水温の測定結果を表18-2-1に示す。

なお、千束野橋は、当該地点付近において冷水性の魚介類の生息が確認されたことから、平成28年度に補足調査を実施した地点である。

表 18-2-1 水温測定結果（遠賀川）

調査地点	年度	水温(°C)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
新宮ノ前橋	H24	6.6	～	27.5	17.9	12
	H25	7.0	～	28.7	17.5	12
	H26	6.5	～	26.2	17.3	12
	H27	7.5	～	29.6	16.2	12
	H28	7.8	～	28.0	18.0	12
	平均		—		17.4	—
川島	H24	6.3	～	28.0	16.8	12
	H25	6.4	～	31.0	18.1	12
	H26	5.0	～	32.8	17.1	12
	H27	8.6	～	27.9	18.0	12
	H28	8.0	～	28.6	18.5	12
	平均		—		17.7	—
日の出橋	H24	6.8	～	28.7	17.8	12
	H25	6.5	～	33.5	18.7	12
	H26	5.5	～	27.8	16.7	12
	H27	7.0	～	28.0	17.5	12
	H28	9.0	～	29.9	18.4	12
	平均		—		17.8	—
千束野橋	H28	6.8	～	22.3	15.3	4

18-3 水生生物の生息状況

現地調査及び既存文献から情報収集を行った結果を図1-3-1及び図1-3-2に示す。

図1-3-2に示すとおり、桑野から上流で冷水性の魚介類であるヤマメの生息が確認された。また、全域で温水性の魚介類の生息が確認された。

図 18-3-1 水生生物の生息状況（遠賀川）

希少種・重要種等の情報を含むため委員限り

図 18-3-2 水生生物の生息状況（遠賀川）

18-4 その他関連事項

- (1) 漁業法に基づく内水面共同漁業権の設定状況
内水面共同漁業権の設定はない。

- (2) 福岡県内水面漁業調整規則に基づく水産動植物採捕の許可状況
シラスウナギの採捕の許可を取得し、採捕を行っている者がいる。

19 中元寺川

19-1 水質

(1) BOD

BODについて過去5年間に行われた水質測定結果を表19-1-1に示す。

なお、たのもと橋は、当該地点付近から上流において冷水性の魚介類の生息が確認されたことから、平成28年度に補足調査を実施した地点である。

BOD(75%値)は、三ヶ瀬橋では平成24及び25年度を除き各年度とも環境基準を達成している。また、皆添橋では各年度とも環境基準を達成している。

表 19-1-1 BODの水質測定結果（中元寺川）

水域名 [類型]	調査地点	年度	BOD(mg/L)					基準値
			最小	～	最大	75%値	測定回数	
中元寺川 上流 [B]	三ヶ瀬橋	H24	1.4	～	3.8	3.2	12	3 以下
		H25	0.7	～	5.3	3.5	12	
		H26	1.0	～	4.1	2.9	12	
		H27	0.7	～	5.1	1.9	12	
		H28	1.1	～	3.6	2.2	12	
		平均		—		2.7	—	
中元寺川 下流 [B]	皆添橋	H24	0.7	～	4.2	2.0	12	3 以下
		H25	0.9	～	3.9	1.8	12	
		H26	0.7	～	3.0	1.4	12	
		H27	0.8	～	1.9	1.7	12	
		H28	0.8	～	2.4	1.6	12	
		平均		—		1.7	—	
中元寺川 上流 [B]	たのもと橋	H28	<0.5	～	2.2	0.9	4	3 以下

(2) 全亜鉛

全亜鉛について過去5年間に行われた水質測定結果を表 19-1-2 及び図 19-1-1 に示す。

なお、たのもと橋は、当該地点付近から上流において冷水性の魚介類の生息が確認されたことから、平成 28 年度に補足調査を実施した地点である。

参考までに環境基準値と比較したところ、全ての地点において生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 19-1-2 全亜鉛の水質測定結果（中元寺川）

調査地点	年度	全亜鉛(mg/L)				測定回数
		最小	～	最大	平均値	
三ヶ瀬橋	H24	0.002	～	0.016	0.007	4
	H25	0.001	～	0.006	0.003	4
	H26	0.001	～	0.006	0.004	4
	H27	0.002	～	0.006	0.004	4
	H28	0.001	～	0.003	0.002	4
	平均		—		0.004	—
皆添橋	H24	0.001	～	0.003	0.002	4
	H25	0.001	～	0.004	0.003	4
	H26	0.004	～	0.004	0.004	1
	H27	0.004	～	0.004	0.004	1
	H28	<0.001	～	0.005	0.003	4
	平均		—		0.003	—
たのもと橋	H28	<0.001	～	0.001	0.001	4

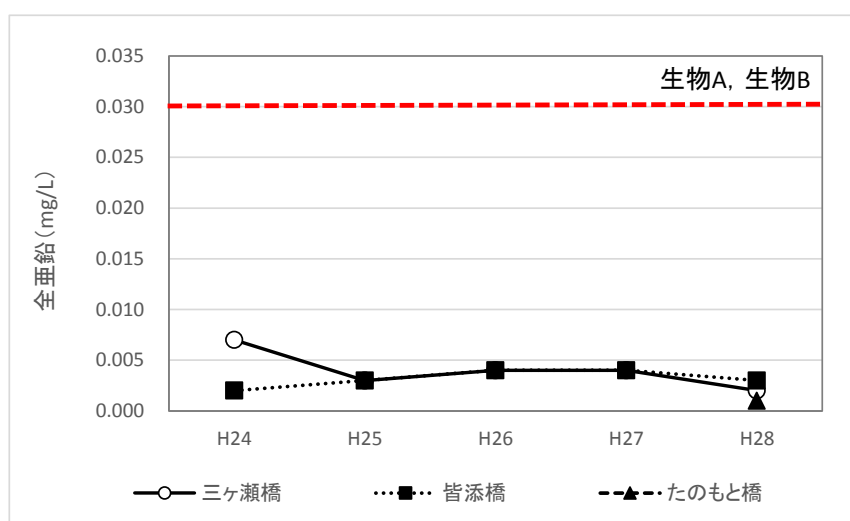


図 19-1-1 全亜鉛の水質測定結果（中元寺川）

(3) ノニルフェノール

ノニルフェノールについて過去3年間に行われた水質測定結果を表19-1-3及び図19-1-2に示す。

なお、たのもと橋は、当該地点付近から上流において冷水性の魚介類の生息が確認されたことから、平成28年度に補足調査を実施した地点である。

参考までに環境基準値と比較したところ、全ての地点において生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

表 19-1-3 ノニルフェノールの水質測定結果（中元寺川）

調査地点	年度	ノニルフェノール(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
三ヶ瀬橋	H26	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	H28	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	平均		—		0.00006	—
皆添橋	H26	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	1
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	1
	H28	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	平均		—		0.00006	—
たのもと橋	H28	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4

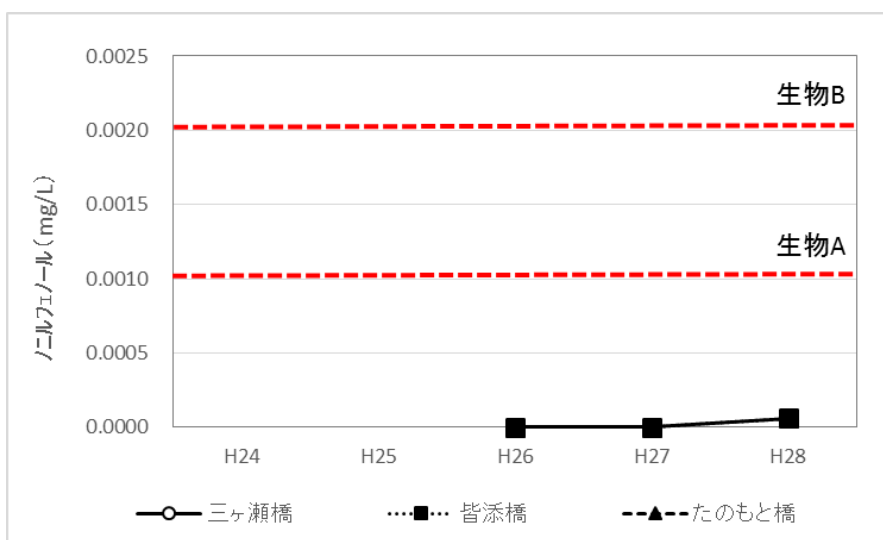


図 19-1-2 ノニルフェノールの水質測定結果（中元寺川）

(4) LAS

LASについて過去3年間に行われた水質測定結果を表19-1-4及び図19-1-3に示す。

なお、たのもと橋は、当該地点付近から上流において冷水性の魚介類の生息が確認されたことから、平成28年度に補足調査を実施した地点である。

参考までに環境基準値と比較したところ、三ヶ瀬橋では、平成26年度に生物A類型の環境基準値を上回っていたが、平成27年度及び平成28年度には生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

また、皆添橋及びたのもと橋では生物A類型及び生物B類型の環境基準値を下回っていた。

表 19-1-4 LAS の水質測定結果（中元寺川）

調査地点	年度	LAS(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
三ヶ瀬橋	H26	0.0076	～	0.085	0.043	4
	H27	0.0049	～	0.017	0.010	4
	H28	0.0008	～	0.0093	0.0066	4
	平均	—			0.020	—
皆添橋	H26	0.010	～	0.010	0.010	1
	H27	<0.0006	～	<0.0006	<0.0006	1
	H28	<0.0006	～	0.011	0.0052	4
	平均	—			0.0053	—
たのもと橋	H28	<0.0006	～	0.0006	0.0006	4

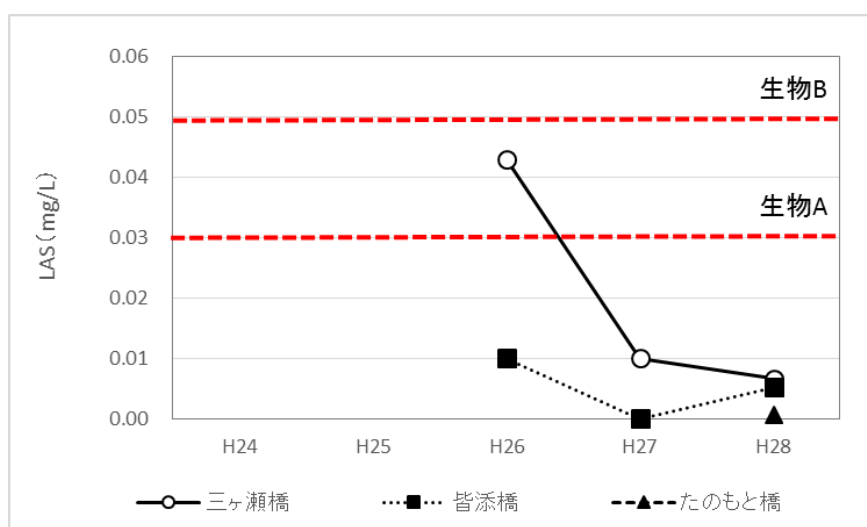


図 19-1-3 LAS の水質測定結果（中元寺川）

19-2 水温

過去5年間に行われた水質測定における水温の測定結果を表19-2-1に示す。

なお、たのもと橋は、当該地点付近から上流において冷水性の魚介類の生息が確認されたことから、平成28年度に補足調査を実施した地点である。

表 19-2-1 水温測定結果（中元寺川）

調査地点	年度	水温(°C)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
三ヶ瀬橋	H24	5.7	～	27.3	17.5	12
	H25	7.1	～	28.5	17.4	12
	H26	6.3	～	26.0	16.5	12
	H27	8.6	～	29.6	16.3	12
	H28	8.3	～	26.9	17.7	12
	平均		—		17.1	—
皆添橋	H24	7.0	～	28.4	18.2	12
	H25	5.5	～	36.7	19.5	12
	H26	5.5	～	28.0	16.5	12
	H27	9.8	～	28.8	18.4	12
	H28	8.6	～	28.3	18.9	12
	平均		—		18.3	—
たのもと橋	H28	5.7	～	21.7	14.3	4

19-3 水生生物の生息状況

現地調査及び既存文献から情報収集を行った結果を図19-3-1に示す。

図19-3-1に示すとおり、陣屋ダム上流で冷水性の魚介類であるヤマメ及びアマゴの生息が確認された。また、全域で温水性の魚介類の生息が確認された。

希少種・重要種等の情報を含むため委員限り

図 19-3-1 水生生物の生息状況（中元寺川）

19-4 その他関連事項

- (1) 漁業法に基づく内水面共同漁業権の設定状況
内水面共同漁業権の設定はない。

- (2) 福岡県内水面漁業調整規則に基づく水産動植物採捕の許可状況
水産動植物採捕の許可による慣習的な採捕は行われていない。

20 彦山川

20-1 水質

(1) BOD

BOD について過去 5 年間に行われた水質測定結果を表 20-1-1 に示す。

BOD (75%値) は、各年度ともに全ての地点において環境基準を達成している。

表 20-1-1 BOD の水質測定結果 (彦山川)

水域名 [類型]	調査地点	年度	BOD(mg/L)					基準値
			最小	～	最大	75%値	測定回数	
彦山川上流 [A]	今任橋	H24	<0.5	～	2.3	0.9	12	2 以下
		H25	0.5	～	2.8	1.0	12	
		H26	0.5	～	2.0	1.0	12	
		H27	0.5	～	1.4	0.9	12	
		H28	0.5	～	1.3	0.8	12	
		平均	—	—	0.9	—	—	
彦山川下流 [B]	糶橋	H24	0.8	～	7.7	2.3	12	3 以下
		H25	1.2	～	4.8	2.0	12	
		H26	0.7	～	3.0	1.6	12	
		H27	0.7	～	2.5	1.3	12	
		H28	0.6	～	2.4	1.2	12	
		平均	—	—	1.7	—	—	

(2) 全亜鉛

全亜鉛について過去5年間に行われた水質測定結果を表 20-1-2 及び図 20-1-1 に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、全ての地点において生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 20-1-2 全亜鉛の水質測定結果（彦山川）

調査地点	年度	全亜鉛(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
今任橋	H24	<0.001	～	0.004	0.002	4
	H25	<0.001	～	0.004	0.002	4
	H26	0.003	～	0.003	0.003	1
	H27	0.010	～	0.010	0.010	1
	H28	0.001	～	0.003	0.002	4
	平均		—		0.004	—
糯橋	H24	0.001	～	0.003	0.002	4
	H25	0.001	～	0.006	0.004	4
	H26	0.004	～	0.004	0.004	1
	H27	0.004	～	0.013	0.009	3
	H28	0.004	～	0.010	0.006	4
	平均		—		0.005	—

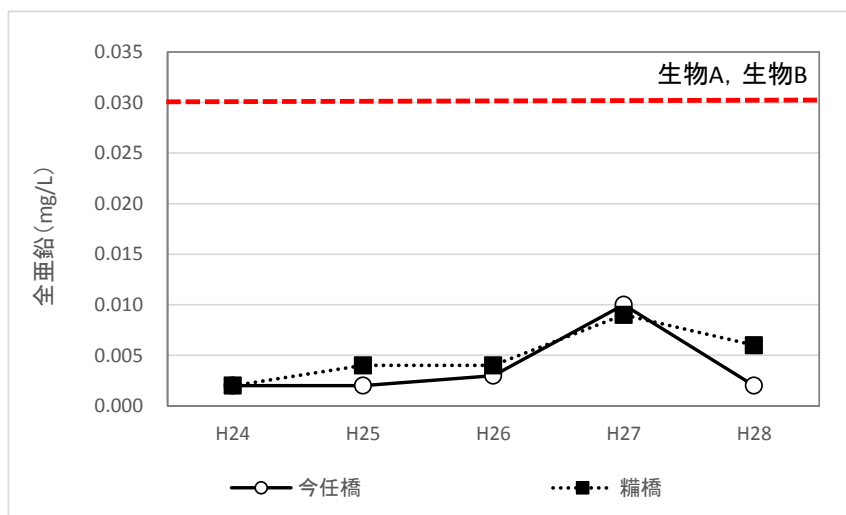


図 20-1-1 全亜鉛の水質測定結果（彦山川）

(3) ノニルフェノール

ノニルフェノールについて過去3年間に行われた水質測定結果を表 20-1-3 及び図 20-1-2 に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、全ての地点において生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 20-1-3 ノニルフェノールの水質測定結果（彦山川）

調査地点	年度	ノニルフェノール(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
今任橋	H26	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	1
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	1
	H28	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	平均		—		0.00006	—
楠橋	H26	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	1
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	H28	<0.00006	～	0.00006	0.00006	4
	平均		—		0.00006	—

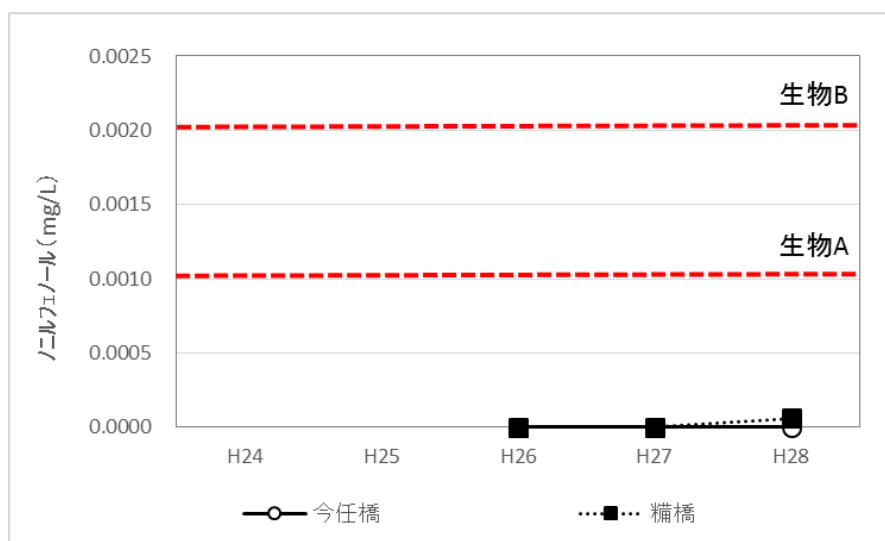


図 20-1-2 ノニルフェノールの水質測定結果（彦山川）

(4) LAS

LAS について過去 3 年間に行われた水質測定結果を表 20-1-4 及び図 20-1-3 に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、全ての地点において生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 20-1-4 LAS の水質測定結果（彦山川）

調査地点	年度	LAS(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
今任橋	H26	0.0009	～	0.0009	0.0009	1
	H27	<0.0006	～	<0.0006	<0.0006	1
	H28	<0.0006	～	0.0061	0.0021	4
	平均	—			0.0012	—
楠橋	H26	0.0094	～	0.0094	0.0094	1
	H27	<0.0006	～	0.0015	0.0009	4
	H28	<0.0006	～	0.0020	0.0013	4
	平均	—			0.0039	—

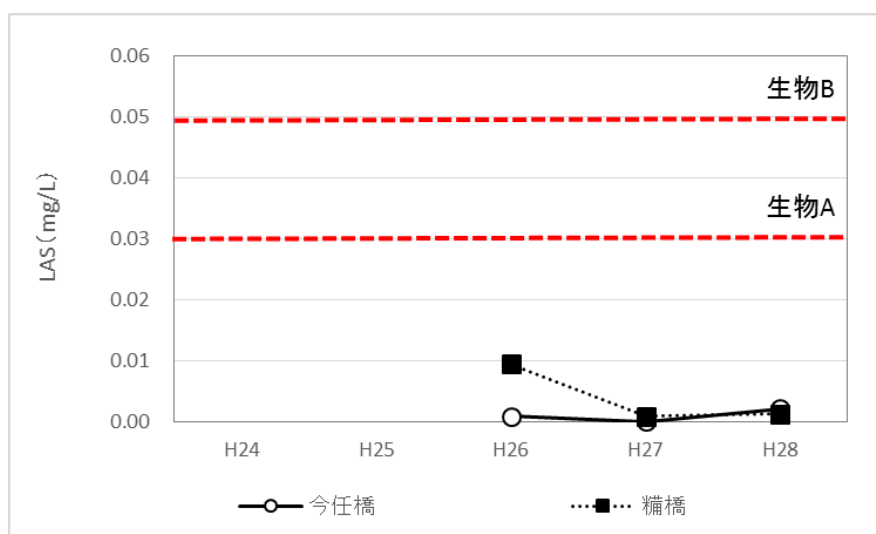


図 20-1-3 LAS の水質測定結果（彦山川）

20-2 水温

過去5年間に行われた水質測定における水温の測定結果を表20-2-1に示す。

表 20-2-1 水温測定結果（彦山川）

調査地点	年度	水温(°C)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
今任橋	H24	5.9	～	27.4	17.6	12
	H25	7.0	～	33.8	18.9	12
	H26	4.5	～	26.5	16.1	12
	H27	7.3	～	27.5	16.7	12
	H28	6.8	～	30.3	17.2	12
	平均		—		17.3	—
糰橋	H24	7.1	～	29.0	18.1	12
	H25	7.0	～	36.5	19.3	12
	H26	1.0	～	27.1	15.9	12
	H27	7.3	～	29.0	17.8	12
	H28	7.6	～	30.1	18.4	12
	平均		—		17.9	—

20-3 水生生物の生息状況

現地調査及び既存文献から情報収集を行った結果を図20-3-1に示す。

図20-3-1に示すとおり、冷水性魚介類の生息は確認されなかった。また、全域で温水性の魚介類の生息が確認された。

希少種・重要種等の情報を含むため委員限り

図 20-3-1 水生生物の生息状況（彦山川）

20-4 その他関連事項

- (1) 漁業法に基づく内水面共同漁業権の設定状況
内水面共同漁業権の設定はない。

- (2) 福岡県内水面漁業調整規則に基づく水産動植物採捕の許可状況
水産動植物採捕の許可による慣習的な採捕は行われていない。

2 1 金辺川

21-1 水質

(1) BOD

BOD について過去 5 年間に行われた水質測定結果を表 21-1-1 に示す。

BOD (75%値) は、各年度ともに全ての地点において環境基準を達成している。

表 21-1-1 BOD の水質測定結果 (金辺川)

水域名 [類型]	調査地点	年度	BOD(mg/L)					基準値
			最小	～	最大	75%値	測定回数	
金辺川 [A]	高木橋	H24	0.9	～	4.2	1.6	12	2 以下
		H25	1.0	～	4.0	2.0	12	
		H26	0.7	～	4.0	1.4	12	
		H27	0.8	～	1.8	1.6	12	
		H28	0.6	～	2.3	1.5	12	
		平均		—			1.6	

(2) 全亜鉛

全亜鉛について過去5年間に行われた水質測定結果を表 21-1-2 及び図 21-1-1 に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、全ての地点において生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 21-1-2 全亜鉛の水質測定結果（金辺川）

調査地点	年度	全亜鉛(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
高木橋	H24	0.001	～	0.006	0.002	4
	H25	0.002	～	0.005	0.003	4
	H26	0.003	～	0.003	0.003	1
	H27	0.002	～	0.012	0.007	4
	H28	0.003	～	0.006	0.004	4
	平均	—			0.0038	—

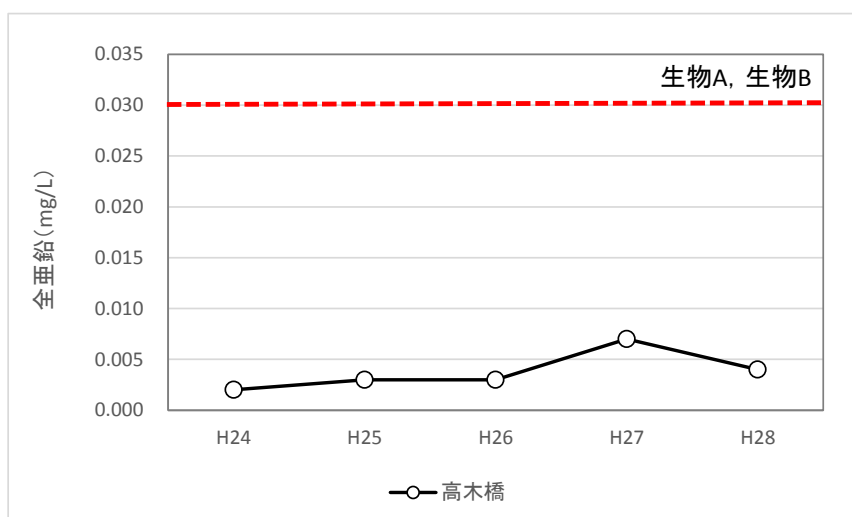


図 21-1-1 全亜鉛の水質測定結果（金辺川）

(3) ノニルフェノール

ノニルフェノールについて過去3年間に行われた水質測定結果を表 21-1-3 及び図 21-1-2 に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、全ての地点において生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 21-1-3 ノニルフェノールの水質測定結果（金辺川）

調査地点	年度	ノニルフェノール(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
高木橋	H26	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	1
	H27	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	H28	<0.00006	～	<0.00006	<0.00006	4
	平均		—		0.00006	—

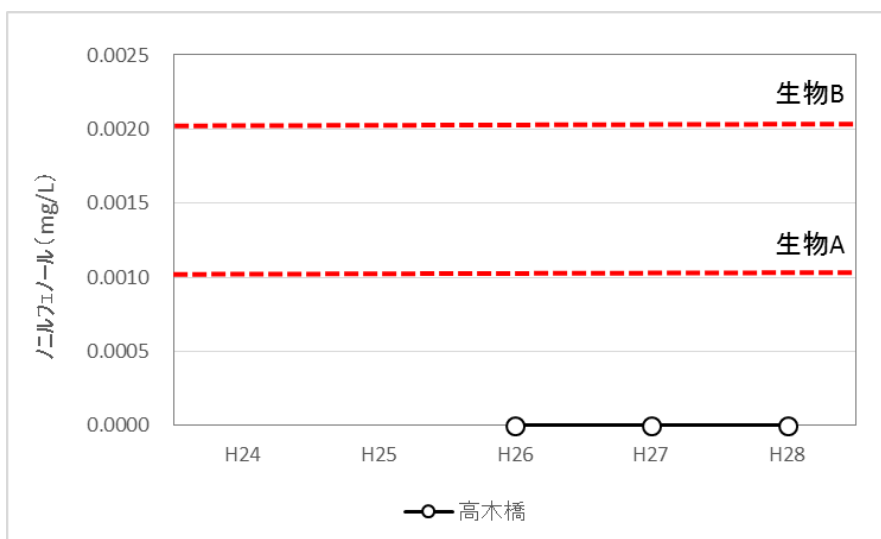


図 21-1-2 ノニルフェノールの水質測定結果（金辺川）

(4) LAS

LAS について過去 3 年間に行われた水質測定結果を表 21-1-4 及び図 21-1-3 に示す。

参考までに環境基準値と比較したところ、全ての地点において生物 A 類型及び生物 B 類型の環境基準値を下回っていた。

表 21-1-4 LAS の水質測定結果（金辺川）

調査地点	年度	LAS(mg/L)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
高木橋	H26	0.0064	～	0.0064	0.0064	1
	H27	<0.0006	～	<0.0006	<0.0006	4
	H28	0.0009	～	0.0030	0.0023	4
	平均	—			0.0031	—

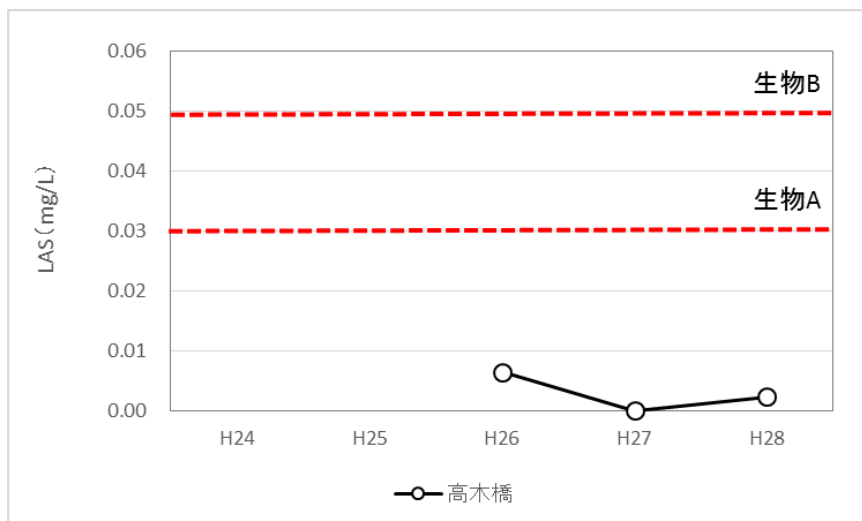


図 21-1-3 LAS の水質測定結果（金辺川）

21-2 水温

過去5年間に行われた水質測定における水温の測定結果を表21-2-1に示す。

表 21-2-1 水温測定結果（金辺川）

調査地点	年度	水温(°C)				
		最小	～	最大	平均値	測定回数
高木橋	H24	6.1	～	30.7	18.6	12
	H25	7.0	～	34.1	19.4	12
	H26	5.5	～	26.5	16.5	12
	H27	7.9	～	27.1	17.2	12
	H28	8.2	～	28.4	17.6	12
	平均		—		17.9	—

21-3 水生生物の生息状況

現地調査及び既存文献から情報収集を行った結果を図21-3-1に示す。

図21-3-1に示すとおり、全域において温水性の魚介類の生息が確認された。

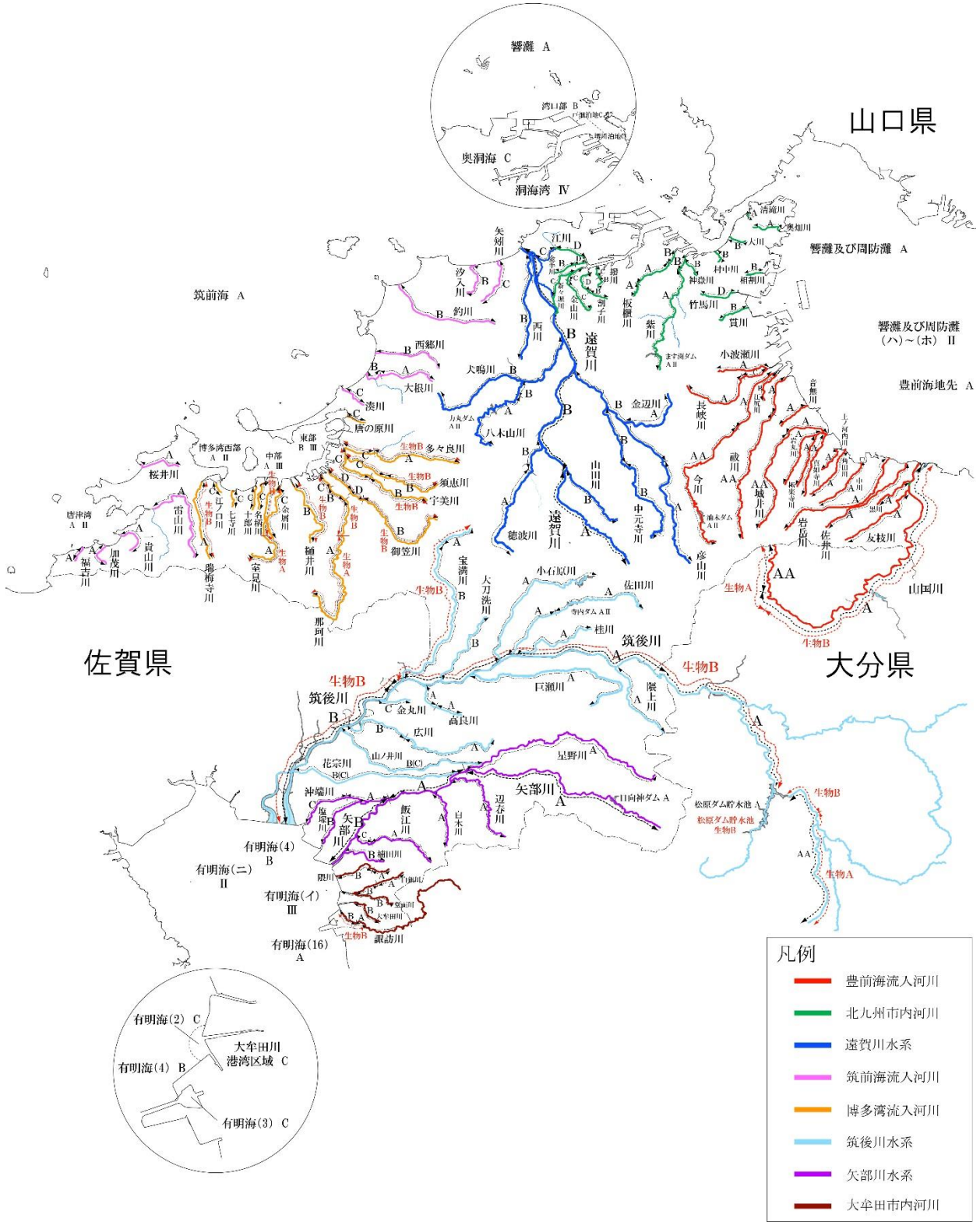
21-3-1 水生生物の生息状況（金辺川）

21-4 その他関連事項

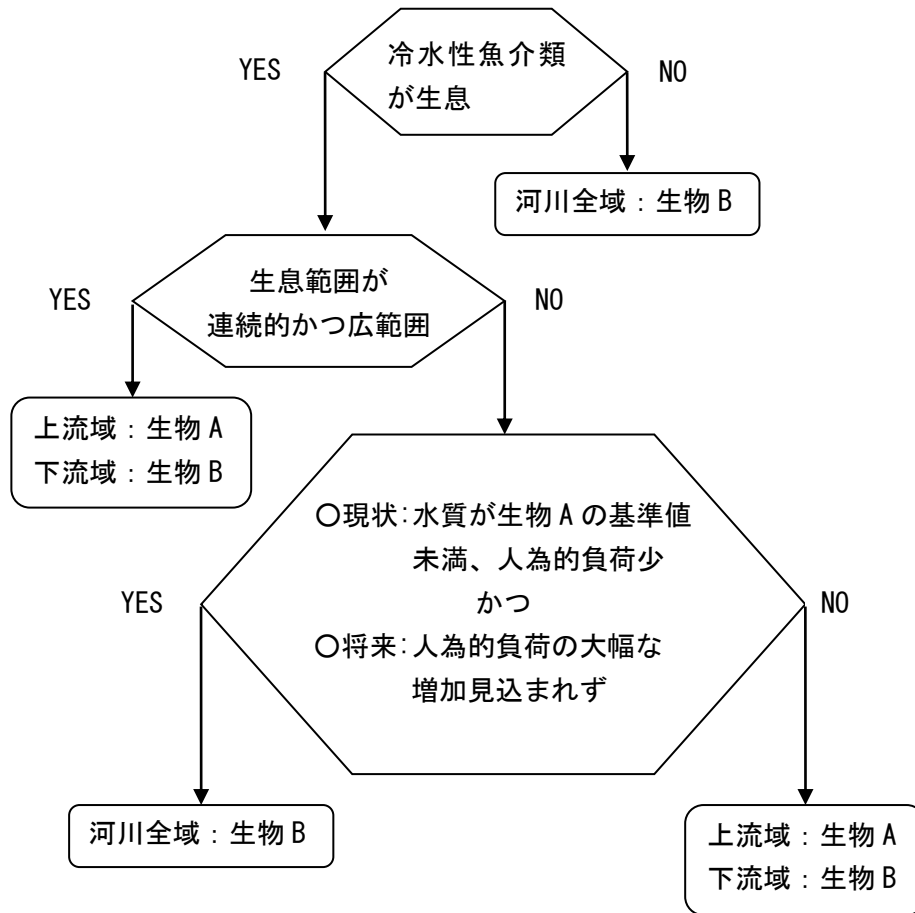
- (1) 漁業法に基づく内水面共同漁業権の設定状況
内水面共同漁業権の設定はない。

- (2) 福岡県内水面漁業調整規則に基づく水産動植物採捕の許可状況
水産動植物採捕の許可による慣習的な採捕は行われていない。

【公共用水域の類型指定現況図】

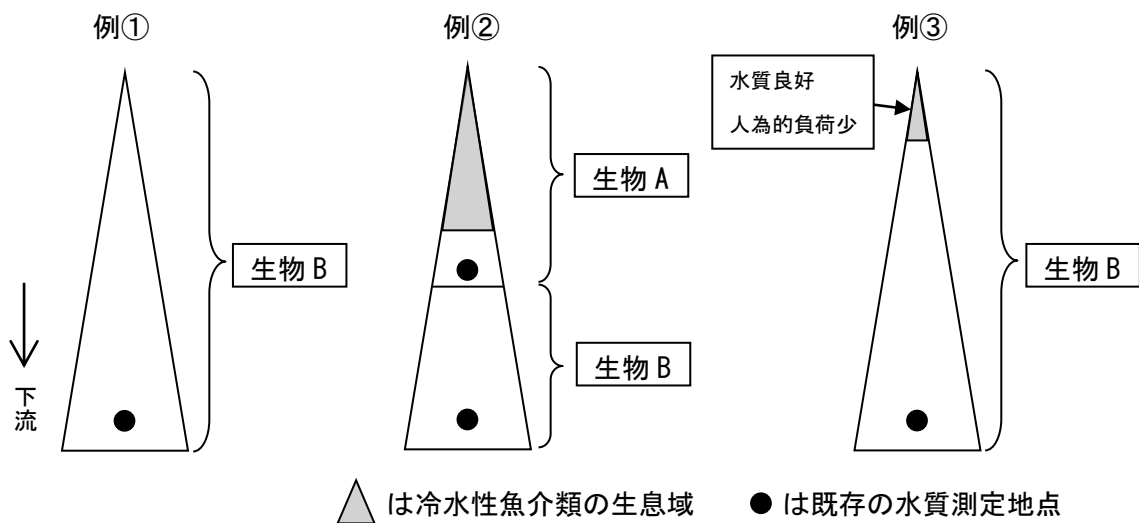


【水生生物保全環境基準の類型指定フローチャート】



※水産資源保護法に基づく保護水面等が広範囲にまとまって存在する水域は特別域に設定

【水域区分と環境基準点の設定の例】



【類型指定に係る水域区分についての情報の整理表】

○豊前海流入河川

	河川名	冷水性魚介類の生息	冷水性魚介類の生息範囲 が連続的かつ広範囲	現状：水質が生物 A 基準値未 満、人為的負荷少	将来：人為的負荷の大幅 な増加見込まれず	類型指定（案）
1	長峽川	×				全域：生物 B
2	今川	×				全域：生物 B
3	江尻川	×				全域：生物 B
4	祓川	○	○			上流：生物 A 下流：生物 B
5	音無川	×				全域：生物 B
6	城井川	×				全域：生物 B
7	岩丸川	×				全域：生物 B
8	真如寺川	×				全域：生物 B
9	中川	×				全域：生物 B
10	岩岳川	×				全域：生物 B
11	佐井川	×				全域：生物 B
12	友枝川	×				全域：生物 B

○遠賀川

	河川名	冷水性魚介類の生息	冷水性魚介類の生息範囲 が連続的かつ広範囲	現状：水質が生物 A 基準値未 満、人為的負荷少	将来：人為的負荷の大幅 な増加見込まれず	類型指定（案）
13	西川	×				全域：生物 B
14	八木山川	×				全域：生物 B
15	犬鳴川	○	×	○	○	全域：生物 B
16	穂波川	×				全域：生物 B
17	山田川	×				全域：生物 B
18	遠賀川	○	×	○	○	全域：生物 B
19	中元寺川	○	×	○	○	全域：生物 B
20	彦山川	×				全域：生物 B
21	金辺川	×				全域：生物 B

○湖沼

	湖沼名	冷水性魚介類の生息	冷水性魚介類の生息範囲 が連続的かつ広範囲	現状：水質が生物 A 基準値未 満、人為的負荷少	将来：人為的負荷の大幅 な増加見込まれず	類型指定（案）
2	油木ダム 貯水池	×				全域：生物 B
14	力丸ダム 貯水池	×				全域：生物 B

審議会の答申に係る福岡県意見書提出制度要綱

(目的)

第1条 この要綱は、審議会、審査会等（法律又は条例により設置されたもの以外のものも含む。以下「審議会」という。）が、知事からの諮問事項を審議する場合において、県民に意見を求める手続（以下「本手続」という。）を定めることにより、県民の多様な意見を把握できるようにするとともに、行政運営における透明性の向上に寄与することを目的とする。

(対象)

第2条 本手続は、審議会が、知事から諮問された事項について実施するものとする。ただし、次に規定するものはこの限りでない。

- (1) 条例案等議会に付議されるもの
- (2) 技術基準等専門性が高いもの
- (3) 個別具体の処分に関するもの
- (4) 公聴会及びアセスメントその他の手続で県民の意見を聞く措置がとられているもの
- (5) その他本手続を行うことが適当でない認められるもの

2 審議会は、知事からの諮問事項以外の事項であって前項各号に該当しないものについて、本手続に準じた手続を行うことができる。

(実施時期)

第3条 本手続は、答申案又は答申案の骨子を作成後、知事に答申を行う前に実施するものとする。

(意見提出者)

第4条 本手続において、意見を提出することができる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 県の区域内に住所を有する者
- (2) 県の区域内に事務所等を有する個人及び法人その他の団体
- (3) 県の区域内に存する事務所等に勤務する者
- (4) 県の区域内に存する学校に在学する者

(意見募集の方法)

第5条 県民に対する意見の募集は、県公報への登載並びに県民情報センター及び地区県民情報コーナーにおける閲覧又は配布の方法により、答申案又は答申案の骨子を公表して行うものとする。ただし、答申案の内容が相当量に及ぶときは、県公報には答申案の要旨及び答申案全体の閲覧場所又は配布場所を登載するものとする。

2 前項本文に規定するもののほか、審議会が必要と認める方法を用いることができる。

(意見提出の期間)

第6条 県民が意見を提出することができる期間については、二週間を標準として審議会

が定めるものとし、前条に規定する意見募集時に県公報において明示するものとする。

(意見提出の方法)

第7条 県民からの意見は、別に定める意見書により求めるものとする。

(提出された意見の取扱い)

第8条 審議会は、提出された意見及び知事への答申について、それぞれの要旨を公表するものとする。

2 前項の公表の方法については、第5条に準じるものとする。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、平成12年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この要綱の施行前に、既に審議会に諮問されている事項については、本手続の対象としない。